

(2) 市政全般(くらし)

【市政全般(くらし)に対する満足度・優先度について】

問 38) 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「満足度」と、今後における市の取組としての「優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものに1つずつ○をつけてください。

満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか

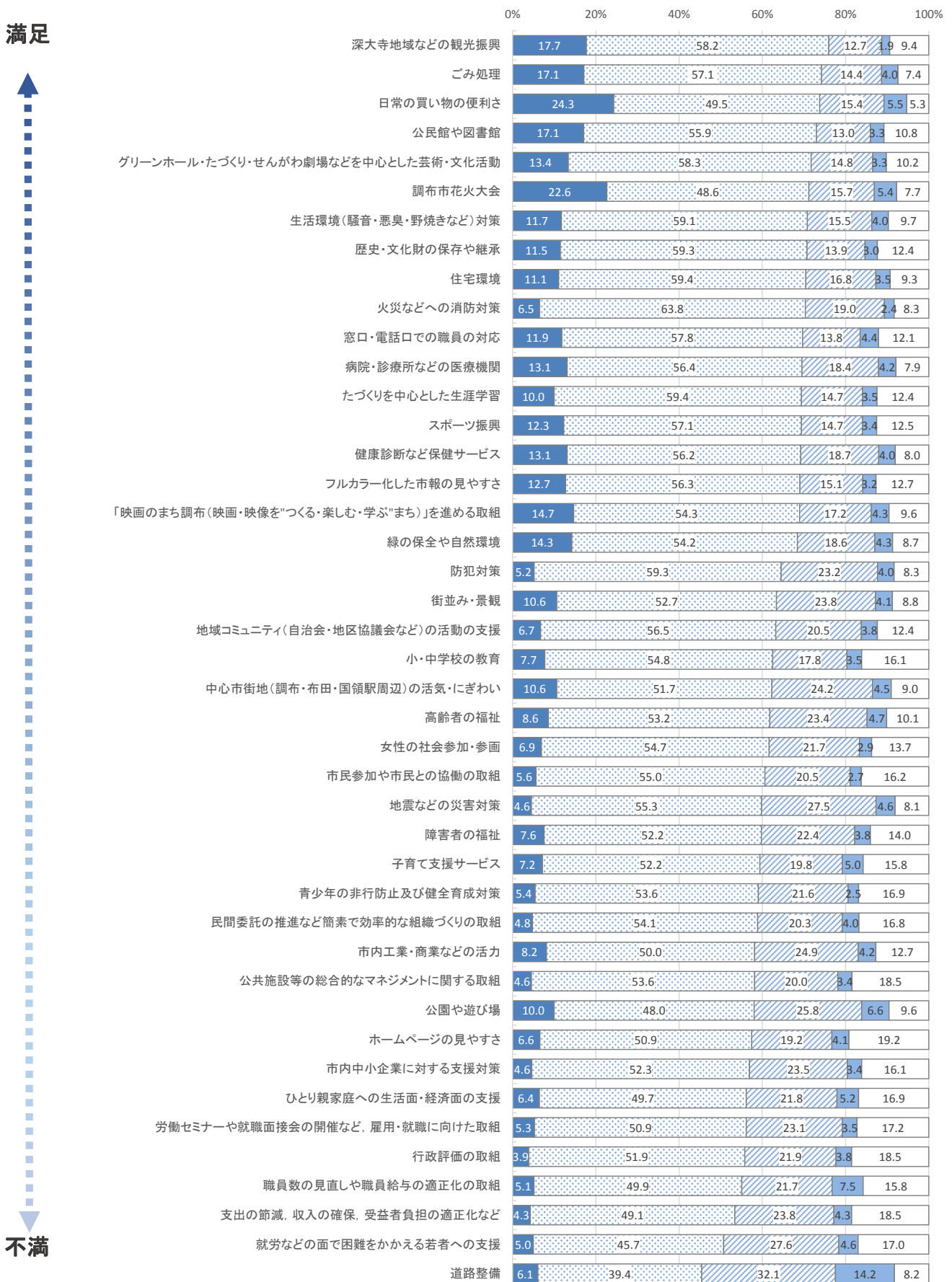
優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

現在の満足度と今後の優先度

<現在の満足度>

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「深大寺地域などの観光振興」が75.9%で最も多く、次いで「ごみ処理」の74.2%、「日常の買い物の便利さ」の73.8%の順となっています。これら3項目を含めた42項目で、「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が半数を上回っています。
- 「満足している」は、「日常の買い物の便利さ」が24.3%で最も多く、次いで「調布市花火大会」の22.6%、「深大寺地域などの観光振興」の17.7%の順となっています。
- 「不満である」と「どちらかといえば不満である」の合計は、「道路整備」が46.3%で最も多く、次いで「公園や遊び場」の32.4%、「就労などの面で困難を抱える若者への支援」の32.2%の順となっています。
- 「不満である」は、「道路整備」が14.2%で最も多くなっていますが、これ以外の項目はすべて10%を下回っています。

図表 43 項目の満足及び不満足の場合
 （「満足している」＋「どちらかといえば満足している」が高い順）



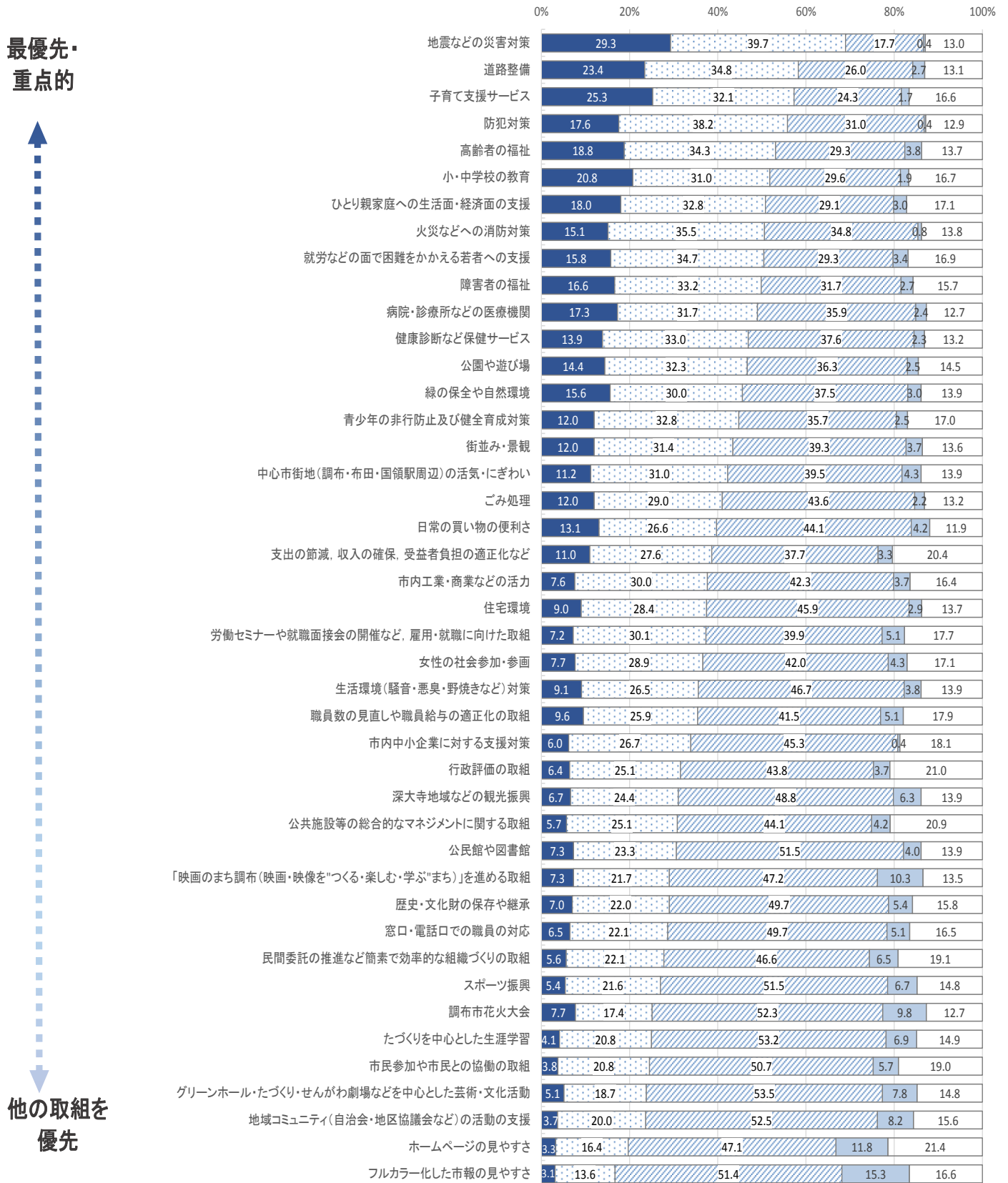
■満足している □どちらかといえば満足している □どちらかといえば不満である ■不満である □無効回答

<今後の優先度>

- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震などの災害対策」が69.0%で最も多く、次いで「道路整備」の58.2%、「子育て支援サービス」の57.4%の順となっています。これらの3項目に加え、「防犯対策」、「高齢者の福祉」、「小・中学校の教育」、「ひとり親家庭への生活面・経済面の支援」、「火災などへの消防対策」、「就労などの面で困難をかかえる若者への支援」を含めた9項目では、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計が半数を上回っています。
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」も、「地震などの災害対策」が29.3%で最も多く、次いで「子育て支援サービス」の25.3%、「道路整備」の23.4%の順となっています。
- 「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計は、「フルカラー化した市報の見やすさ」が66.7%で最も多く、次いで「調布市花火大会」が62.1%、「グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動」の61.3%、「地域コミュニティ（自治会など）の活動の支援」の60.7%、「たづくりを中心とした生涯学習」の60.1%の順となっています。これら5項目を含めた15項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。
- 「他の取組を優先すべきである」は、「フルカラー化した市報の見やすさ」が15.3%で最も多く、次いで「ホームページの見やすさ」の11.8%、「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組」の10.3%、「調布市花火大会」の9.8%の順となっています。

図表 43 項目の優先及び現状維持の割合

（「最優先かつ重点的に取り組むべきである」＋「優先して取り組むべきである」が高い順）

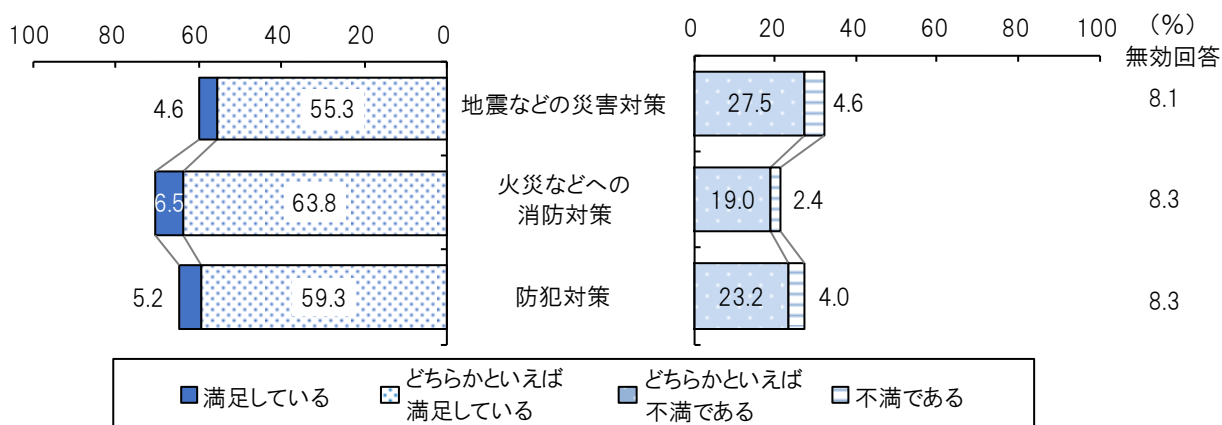


最優先かつ重点的に取り組むべきである
 優先して取り組むべきである
 現状の取組を維持すればよい
 他の取組を優先すべきである
 無効回答

基本目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために (施策01~03)

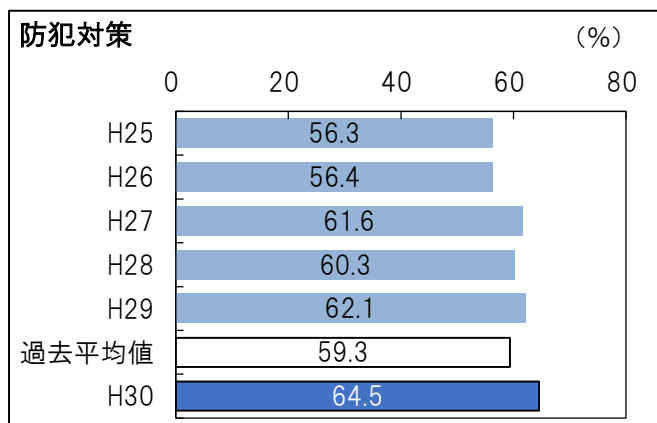
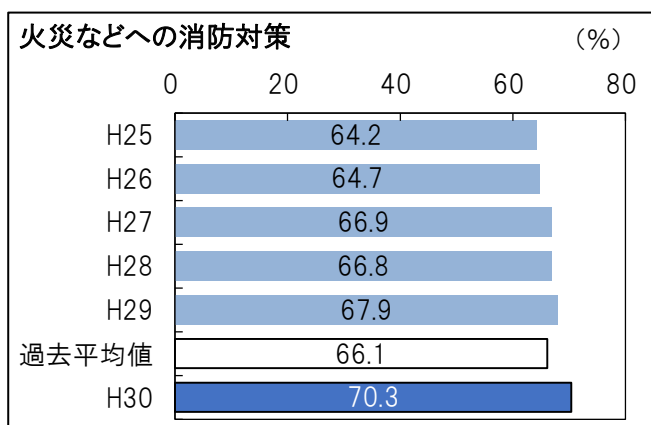
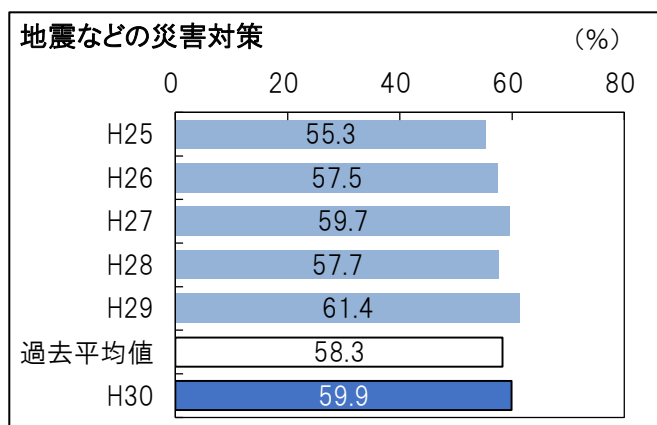
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「火災などへの消防対策(70.3%)」、「防犯対策」(64.5%)、「地震などの災害対策」(59.9%)の順となっており、いずれも半数を上回っています。



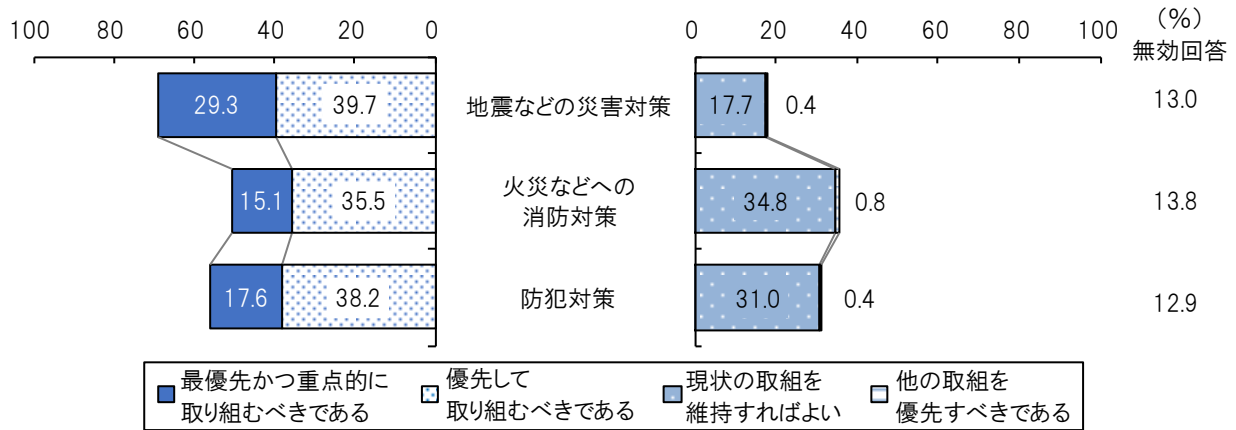
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、3項目すべてにおいて過去5年間の平均を上回っています。



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震などの災害対策」(69.0%)、「防犯対策」(55.9%)、「火災などへの消防対策」(50.6%)の順に多く、いずれも半数を上回っています。



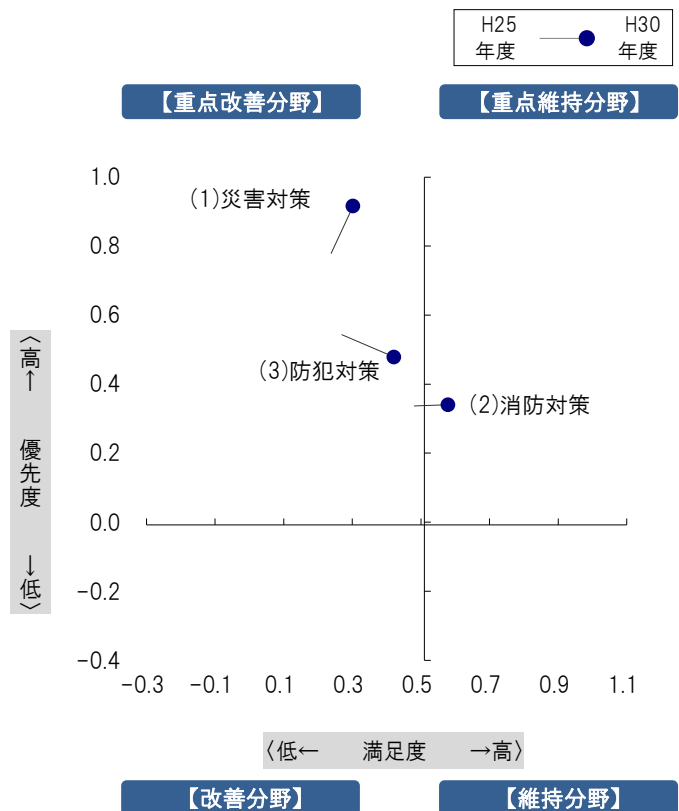
<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標1 共に助け合い、安全・安心に暮らすために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。

○優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「地震などの災害対策」と「防犯対策」が該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が増加しています。優先度は「地震などの災害対策」、「火災などへの消防対策」が増加する一方、「防犯対策」は減少しています。

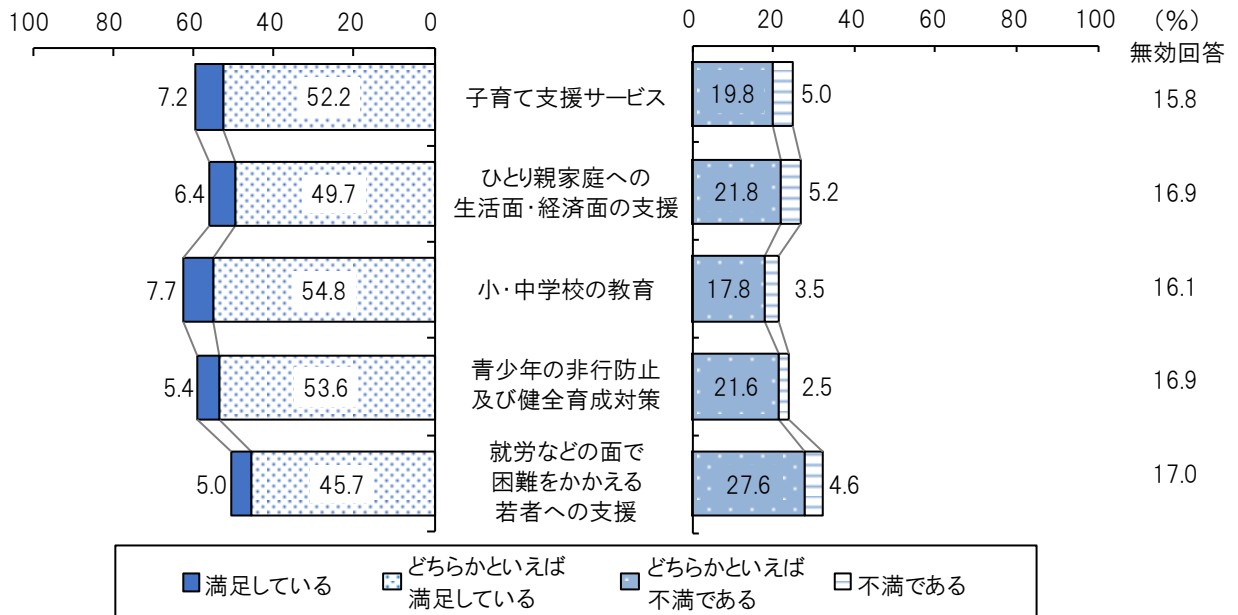
	取組項目	満足度	優先度
(1)	地震などの災害対策	0.302	0.916
(2)	火災などへの消防対策	0.579	0.340
(3)	防犯対策	0.421	0.478



基本目標2 次代を担う子どもたちを安心して育てるために (施策04~06)

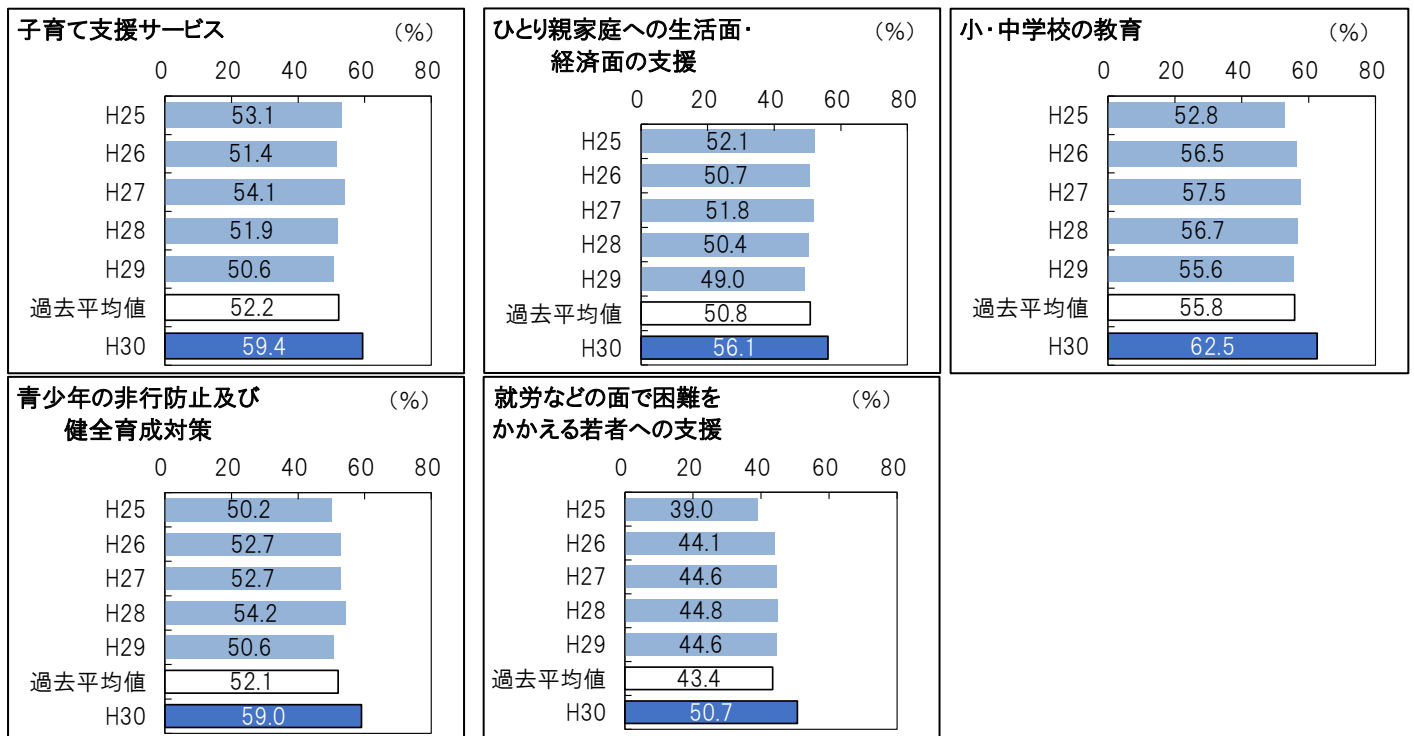
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「小・中学校の教育」(62.5%),「子育て支援サービス」(59.4%),「青少年の非行防止及び健全育成対策」(59.0%)の順となっており、全5項目全てで半数を上回っています。



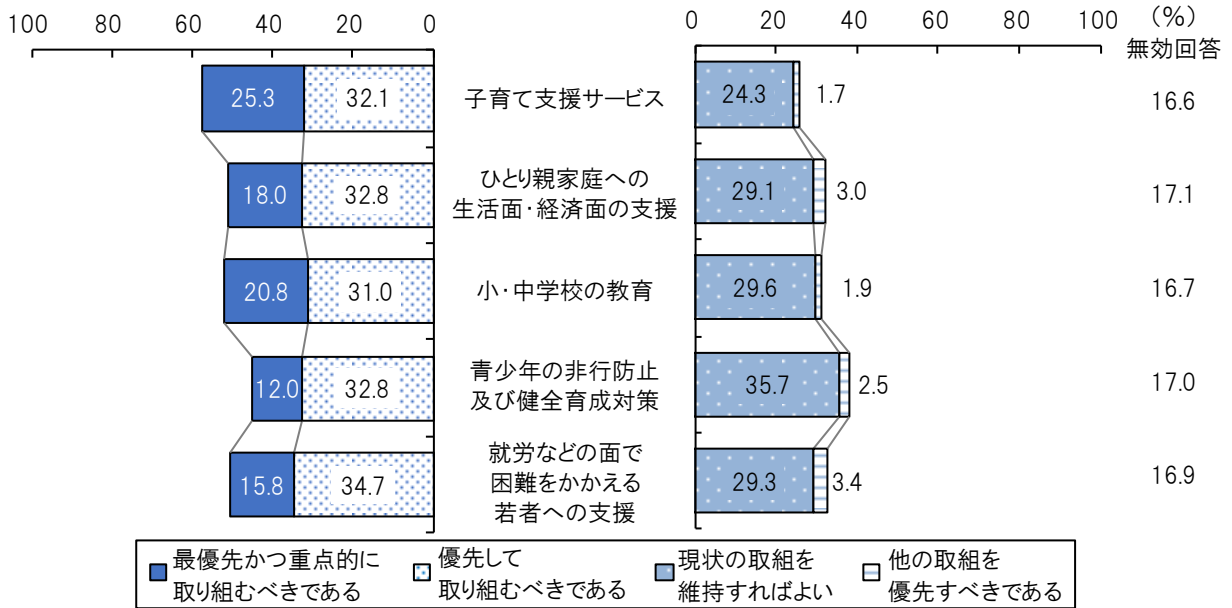
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、5項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「子育て支援サービス」(57.4%),「小・中学校の教育」(51.8%),「ひとり親家庭への生活面・経済面の支援」(50.8%)の順に多く、「青少年の非行防止及び健全育成対策」以外の項目については半数を上回っています。

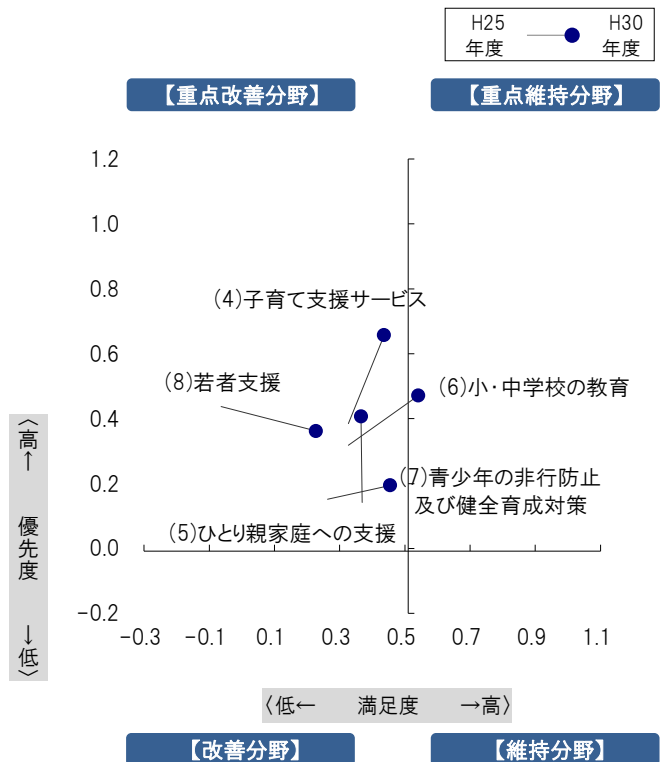


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標2 次代を担う子どもたちを安心して育てるために」の各項目は、すべて優先度が高いにもかかわらず、4項目が満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、(5)を除く全ての項目で満足度が増加しています。

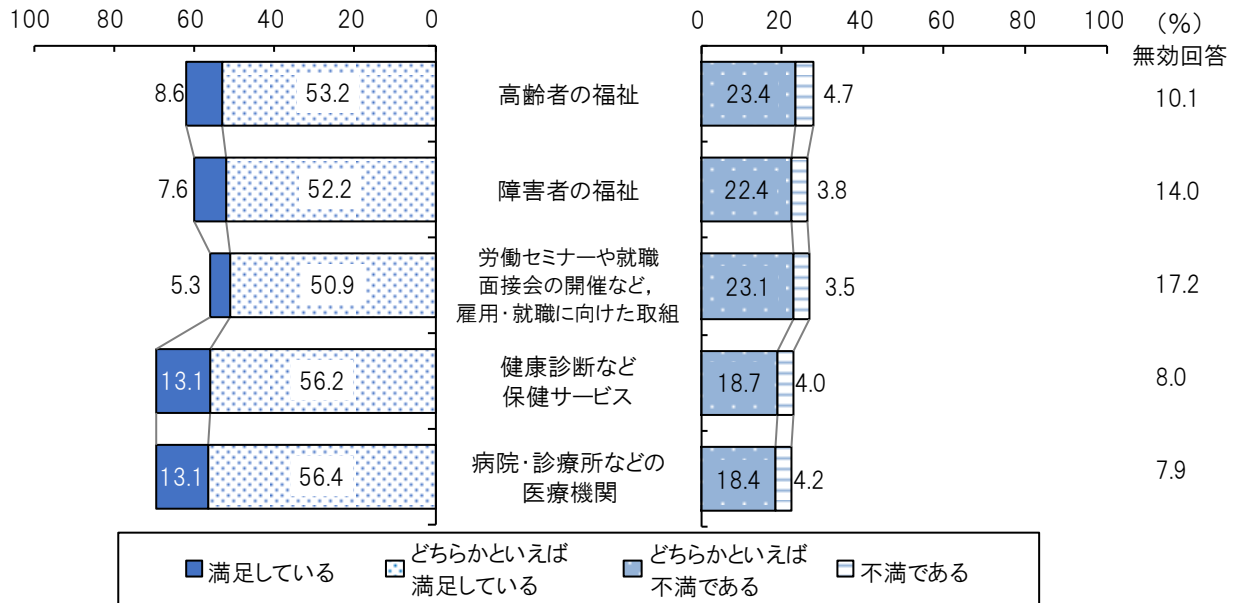
項目	取組項目	満足度	優先度
(4)	子育て支援サービス	0.436	0.657
(5)	ひとり親家庭への生活面・経済面の支援	0.366	0.408
(6)	小・中学校の教育	0.541	0.471
(7)	青少年の非行防止及び健全育成対策	0.455	0.194
(8)	就労などの面で困難をかかえる若者への支援	0.227	0.362



基本目標3 だれもが安心して、いきいきと暮らすために (施策07~12)

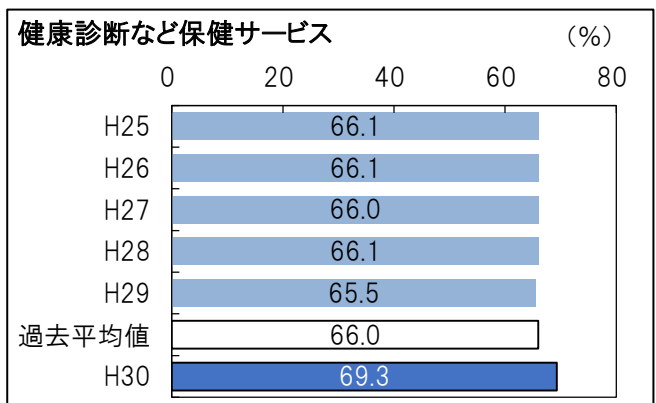
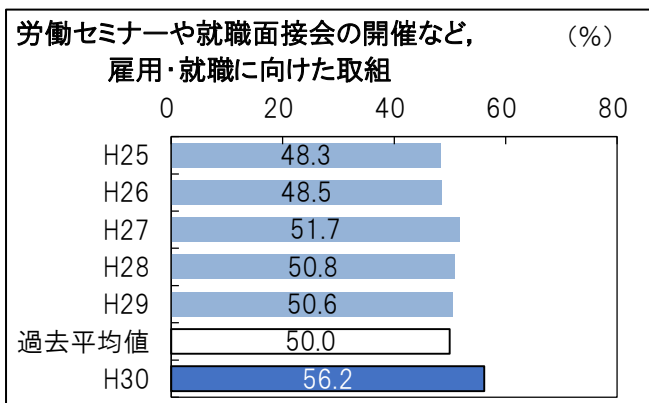
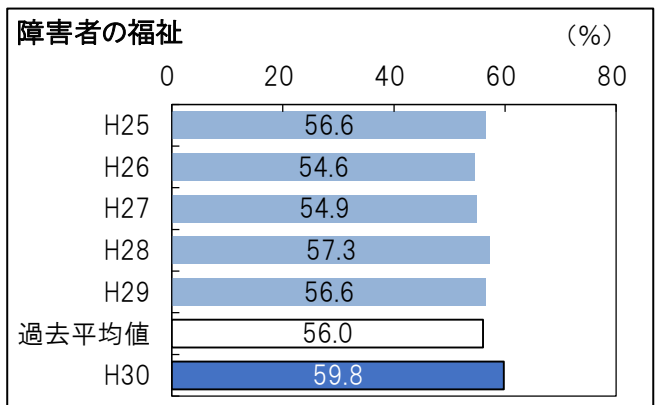
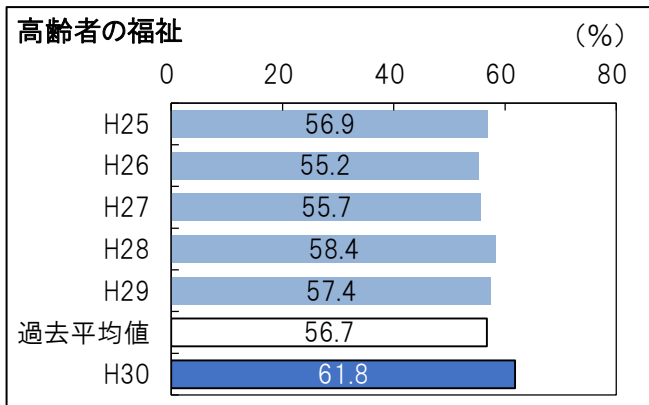
<満足度>

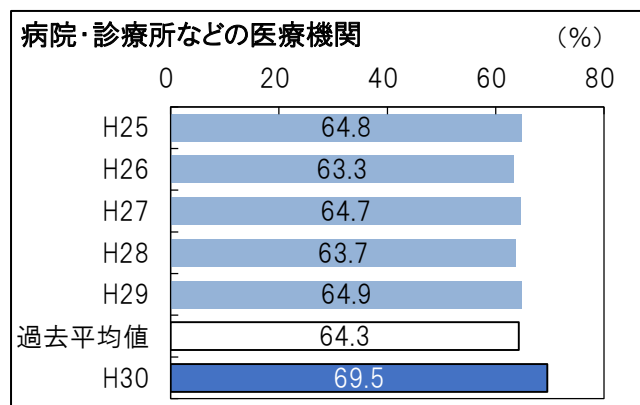
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「病院・診療所などの医療機関」(69.5%)、「健康診断など保健サービス」(69.3%)、「高齢者の福祉」(61.8%)の順となっており、全項目で半数を上回っています。



<満足度の経年推移>

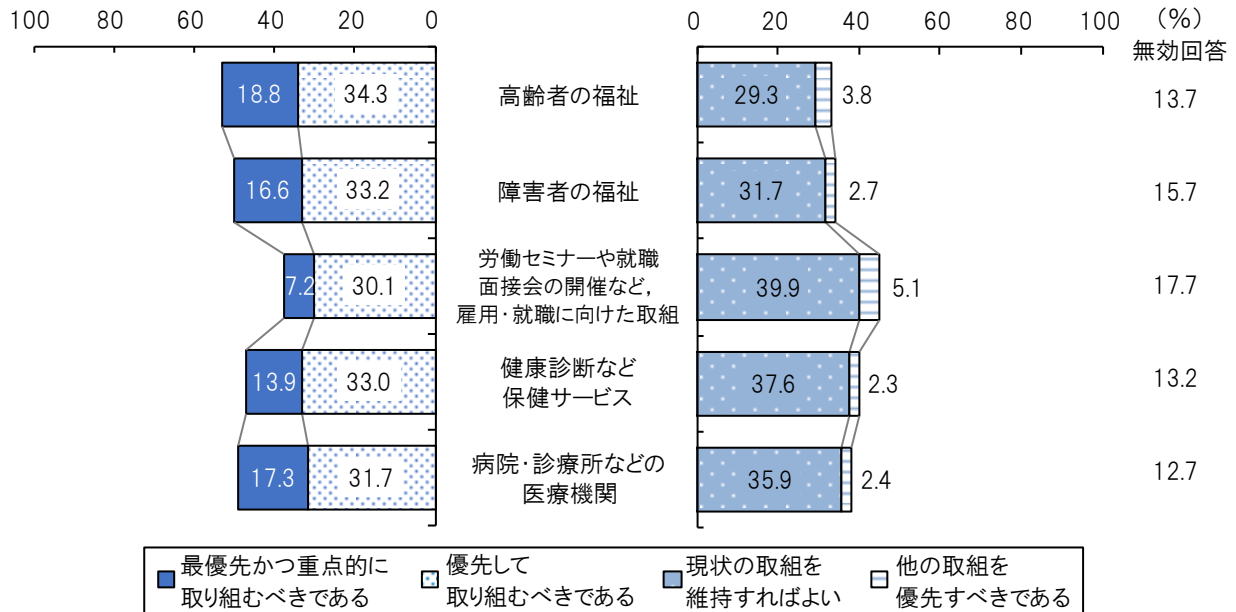
○平成30年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、5項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。





<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「高齢者の福祉」（53.1%）、「障害者の福祉」（49.8%）、「病院・診療所などの医療機関」（49.0%）の順に多く、全5項目中4項目が半数以下になっています。



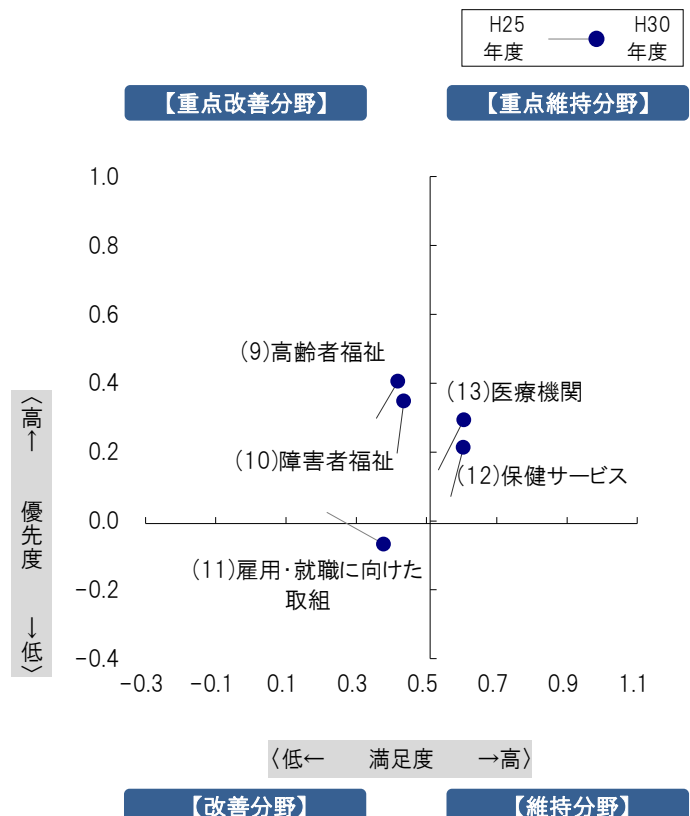
<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標3 だれもが安心して、いきいきと暮らすために」の各項目は、「労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組」以外は、優先度が高くなっています。

○優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「高齢者の福祉」と「障害者の福祉」が該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度が増加しています。

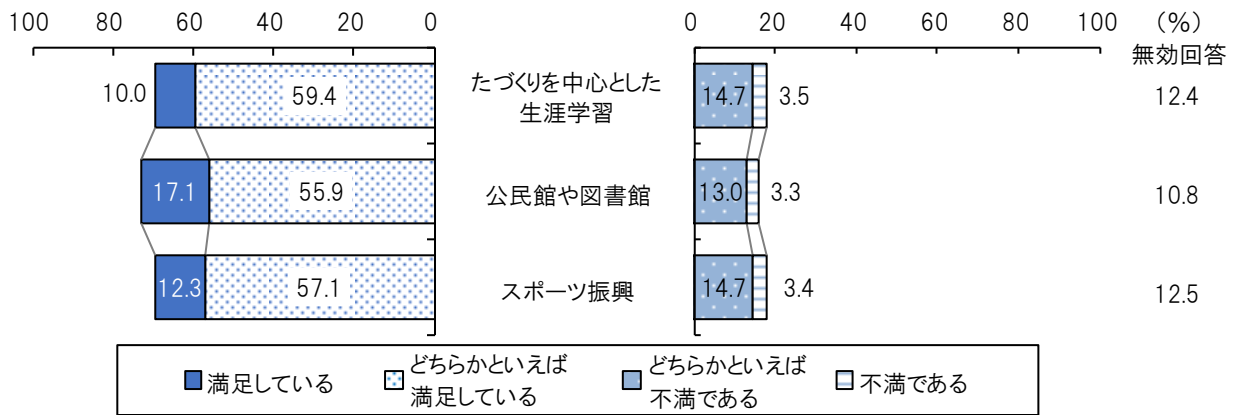
	取組項目	満足度	優先度
(9)	高齢者の福祉	0.419	0.405
(10)	障害者の福祉	0.435	0.348
(11)	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.378	-0.067
(12)	健康診断など保健サービス	0.605	0.213
(13)	病院・診療所などの医療機関	0.606	0.294



基本目標4 身近な学びと交流のあるまちをつくるために（施策13～14）

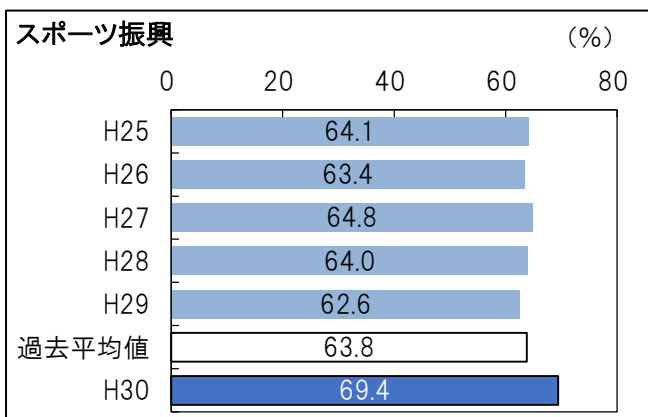
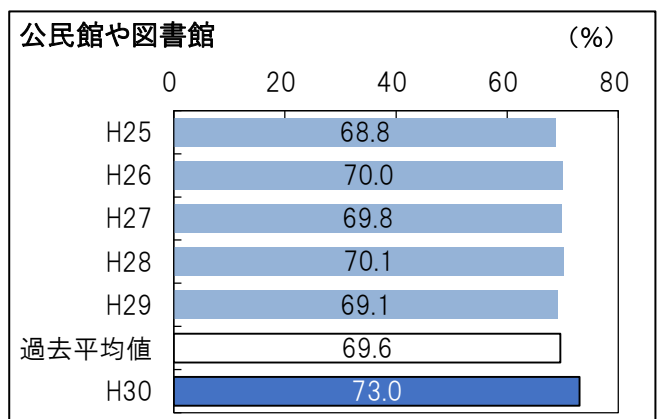
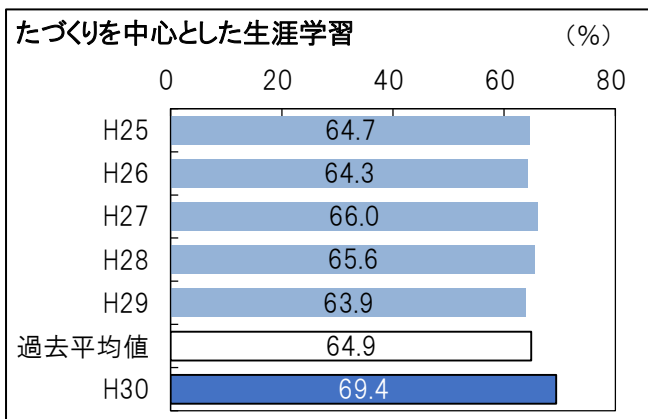
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「公民館や図書館」（73.0%）,「たづくりを中心とした生涯学習」（69.4%）,「スポーツ振興」（69.4%）の順となっており、いずれも6割以上を占めています。



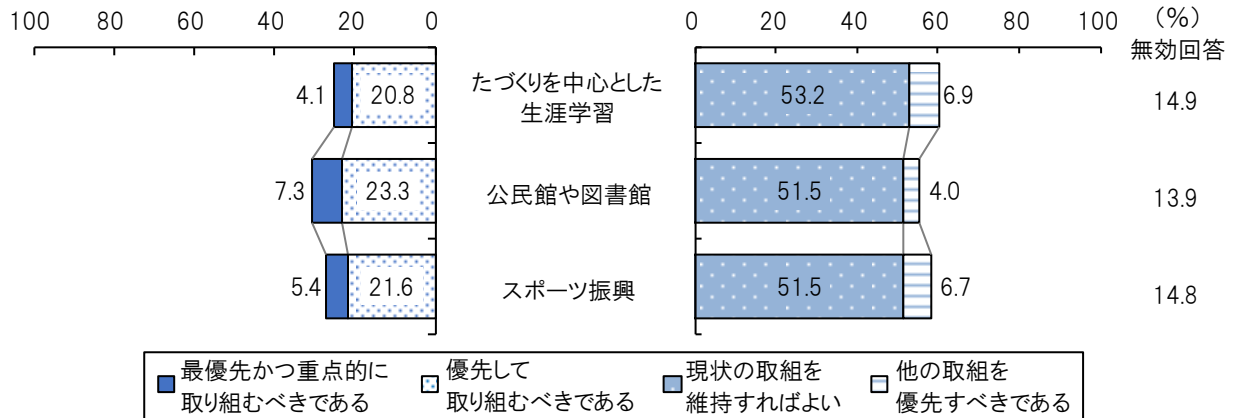
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、3項目全てにおいて過去の平均を上回っています。



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。なお、全ての項目において「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。

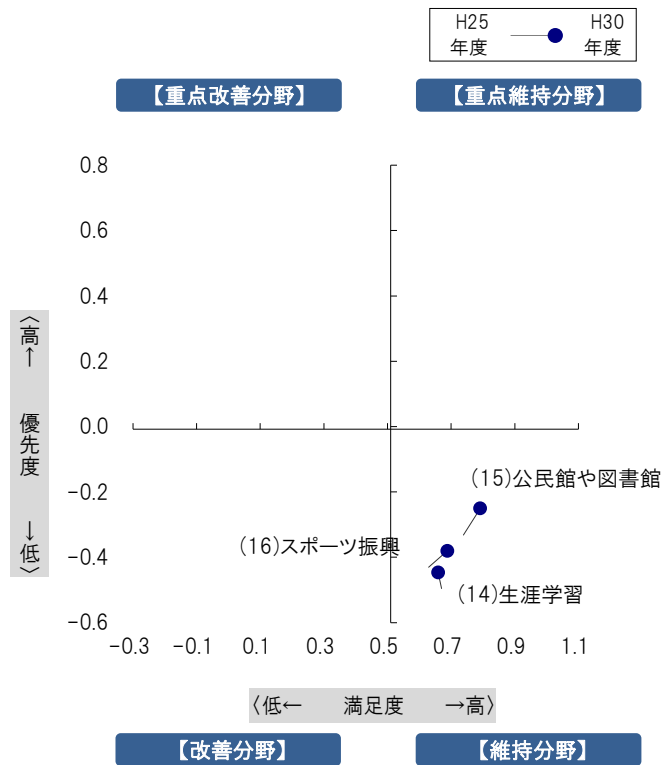


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標4 身近な学びと交流のあるまちをつくるために」の各項目は、すべて満足度が高く、優先度が低い「維持分野」に該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、いずれの項目も優先度が増加しています。「公民館や図書館」「スポーツ振興」は満足度が増加しています。一方、「生涯学習」はわずかに満足度が減少しています。

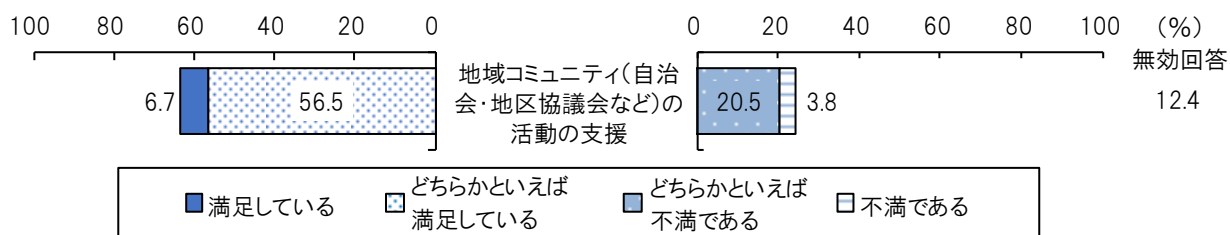
	取組項目	満足度	優先度
(14)	たづくりを中心とした生涯学習	0.660	-0.446
(15)	公民館や図書館	0.792	-0.250
(16)	スポーツ振興	0.688	-0.381



基本目標5 地域のつながりの中で、ぬくもりのある暮らしをおくるために (施策15)

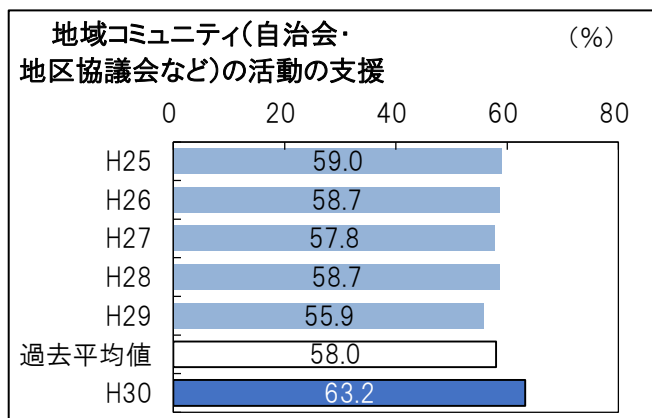
<満足度>

○「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動の支援」の「満足している」と「どちらかといえは満足している」の合計は(63.2%)で、半数を上回っています。



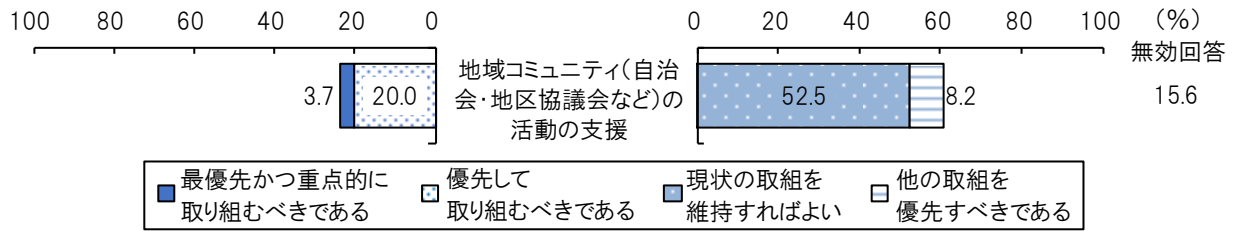
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえは満足している」)は、過去の平均を上回っています。



<優先度>

○「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動の支援」の「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は（23.7%）で「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計の半分以下となっています。

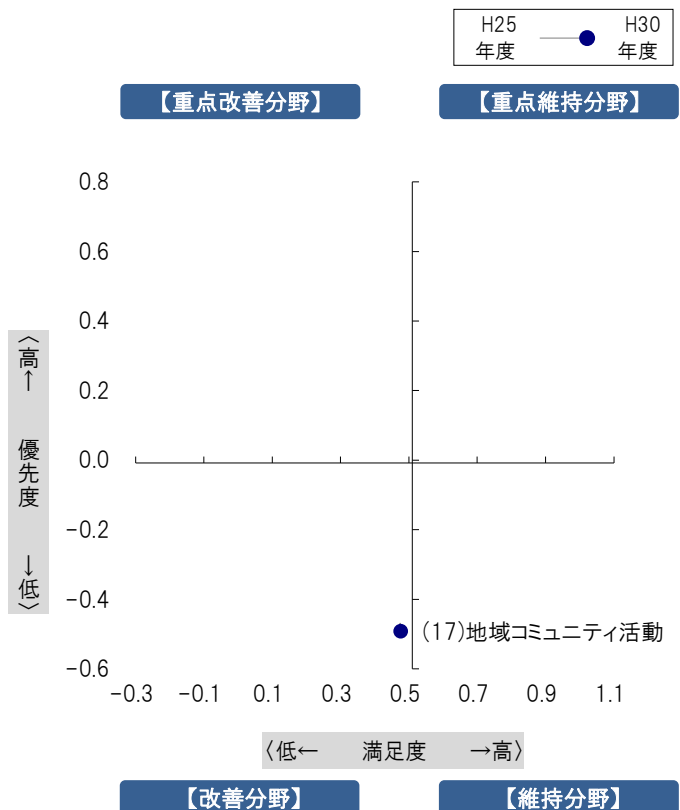


<満足度・優先度平均スコア>

○「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動の支援」は、満足度と優先度が低い「改善分野」に該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、満足度、優先度ともほとんど変化はありません。

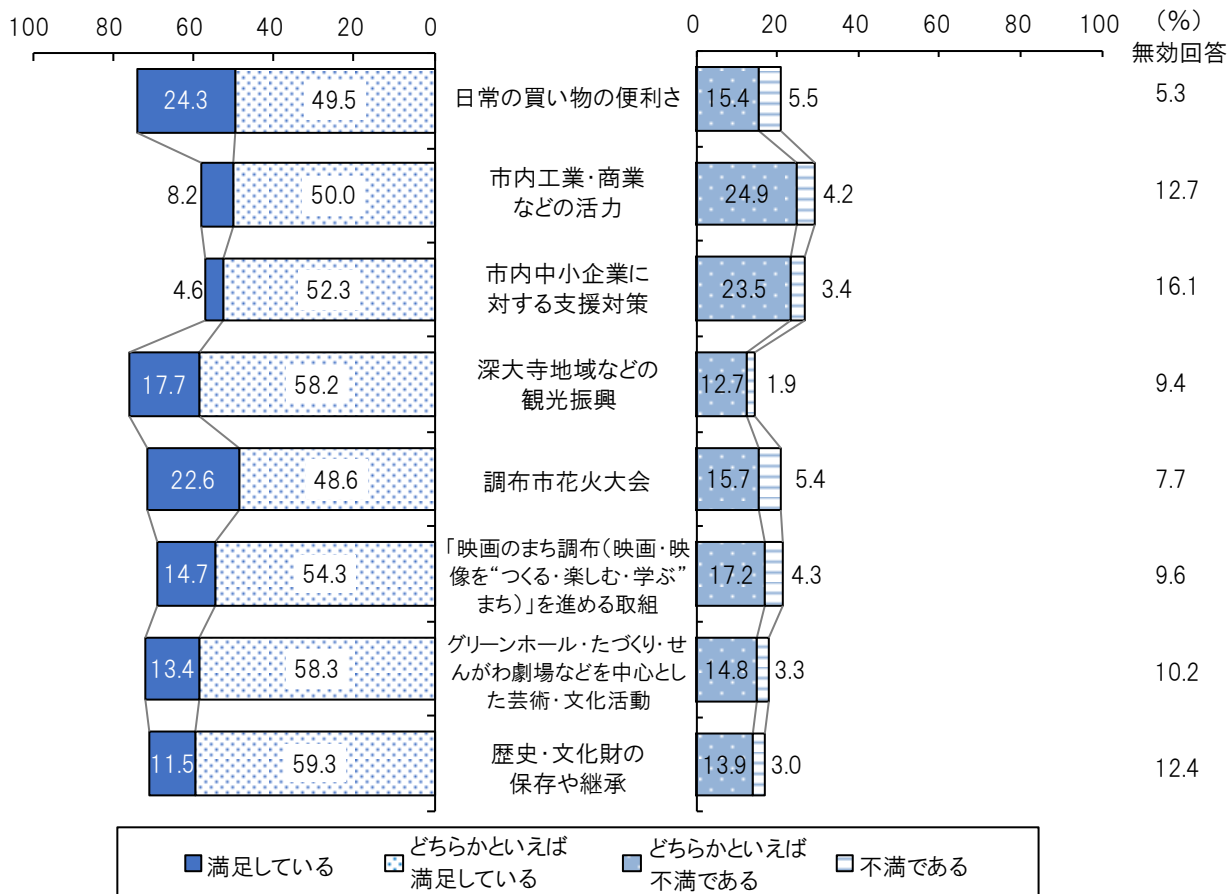
取組項目	満足度	優先度
(17) 地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動の支援	0.476	-0.492



基本目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために（施策16～20）

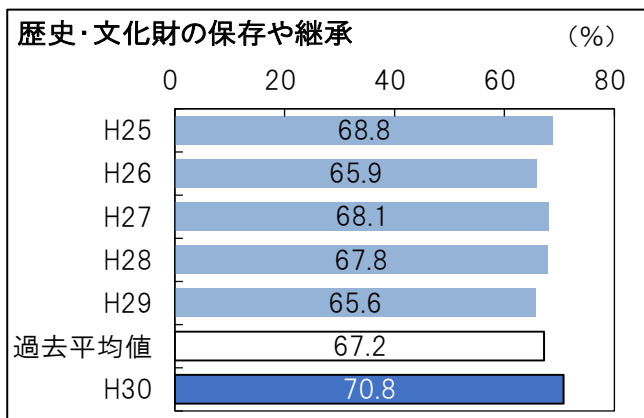
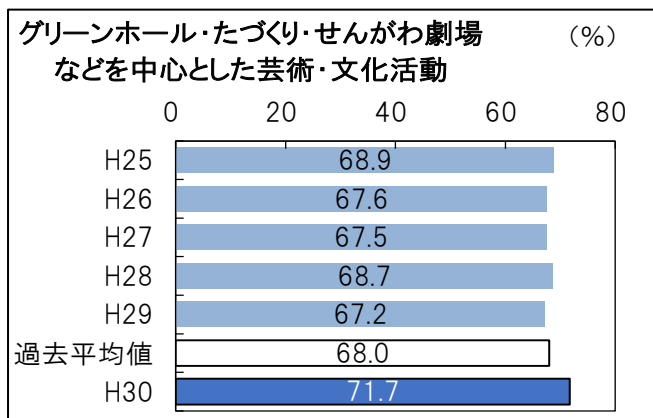
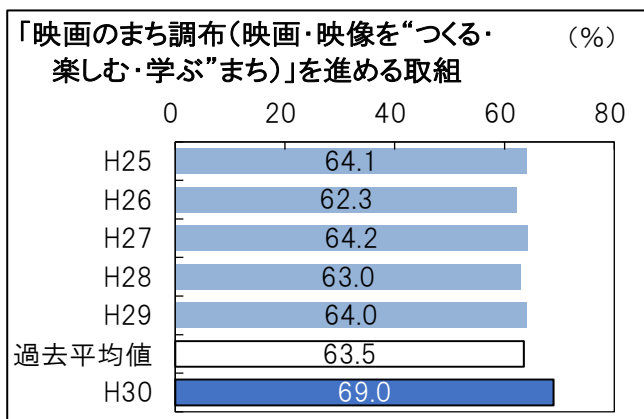
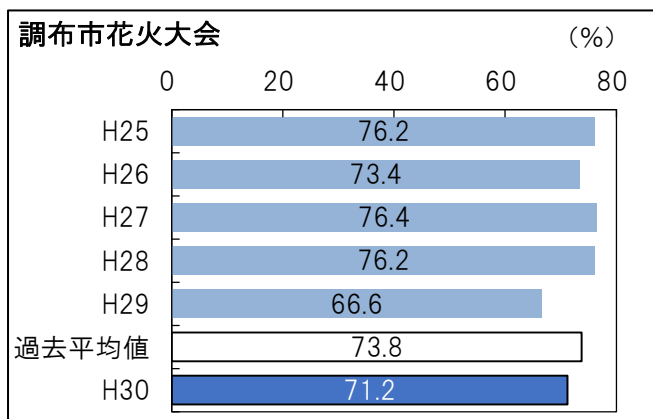
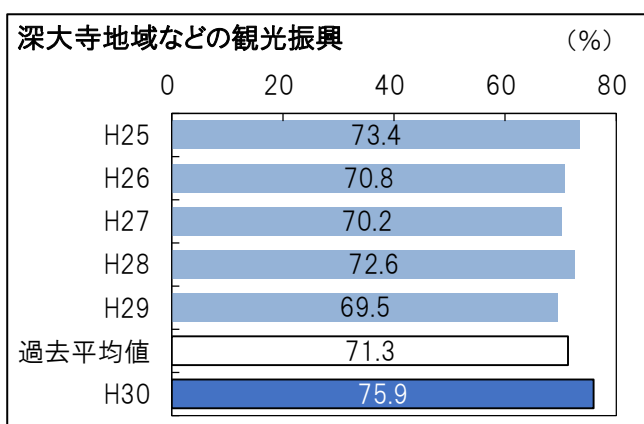
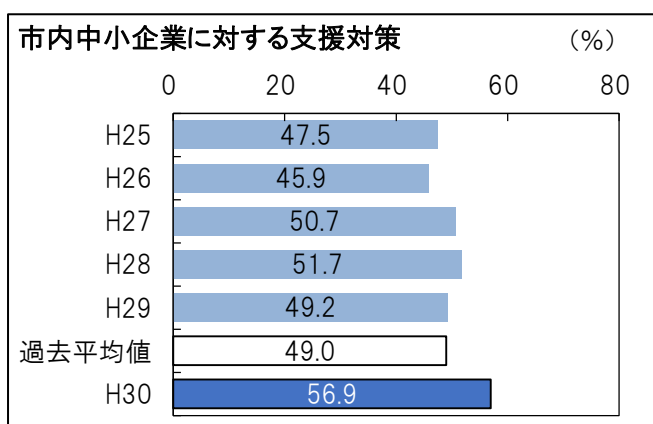
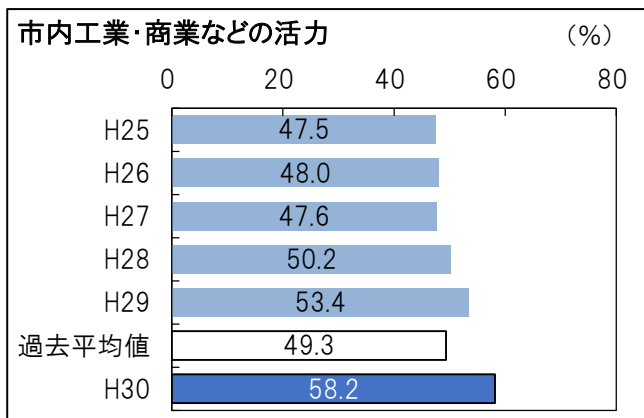
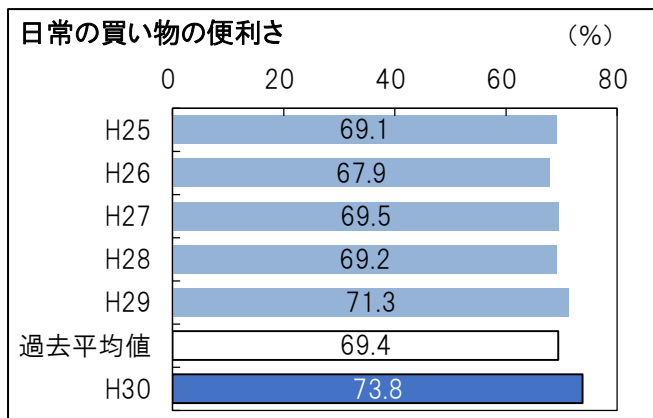
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「深大寺地域などの観光振興」(75.9%)、「日常の買い物の便利さ」(73.8%)、「グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動」(71.7%)の順となっており、全8項目すべてで半数を上回っています。



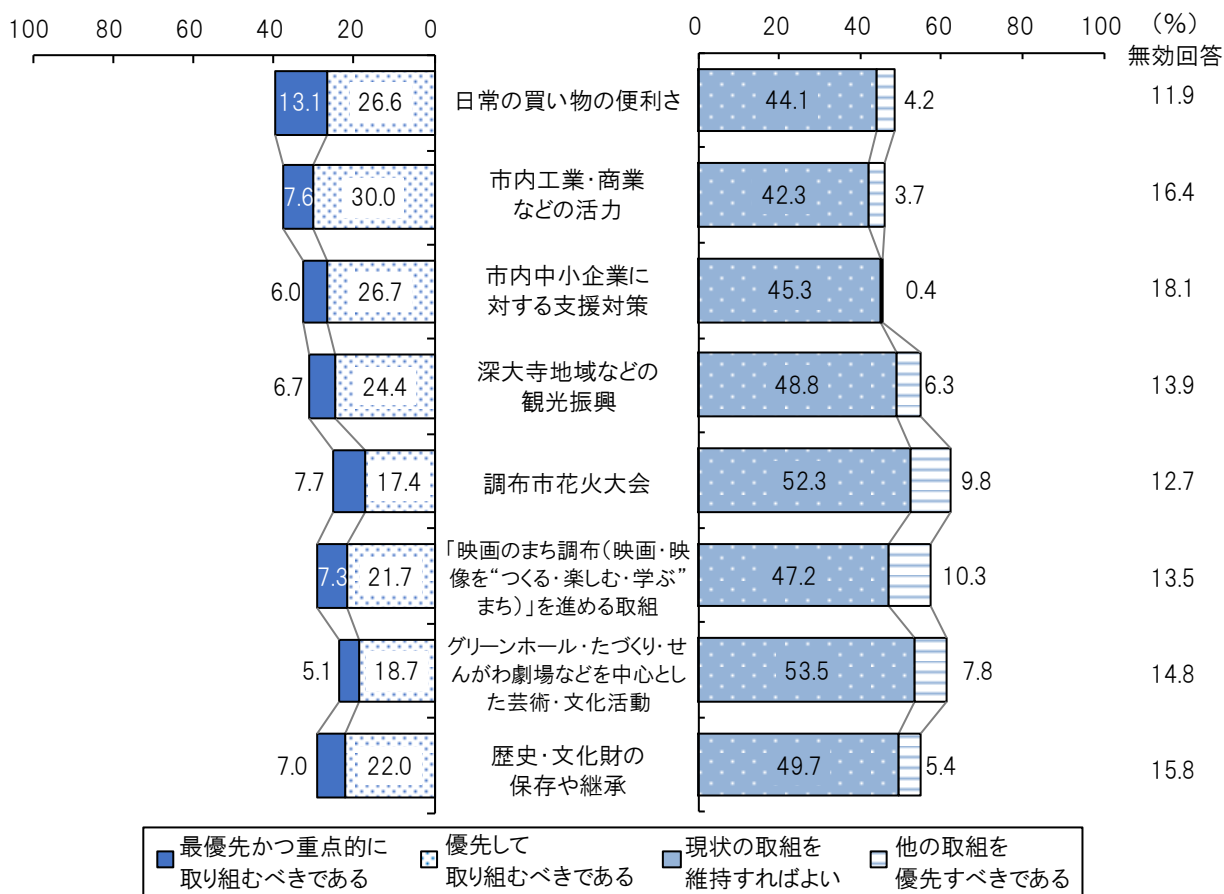
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、全8項目中7項目において過去の平均を上回っています。



<優先度>

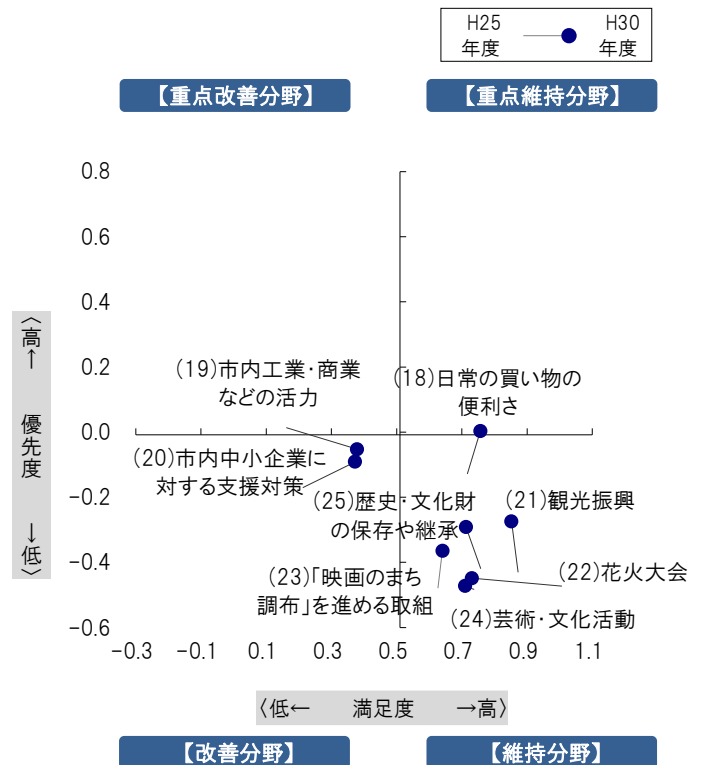
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。また全8項目中5項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標6 地域資源を生かした活力あるまちをつくるために」の全8項目中5項目が、「維持分野」に該当しています。
- 優先度が高く満足度が高い「重点維持分野」には、「日常の買い物の便利さ」が該当しています。
- 平成25年度の調査結果と比べ、「市内工業・商業などの活力」は満足度が増加し、優先度が減少しています。「観光振興」、「花火大会」、「芸術・文化活動」、「歴史・文化財の保存や継承」は満足度が減少し、優先度が増加しています。

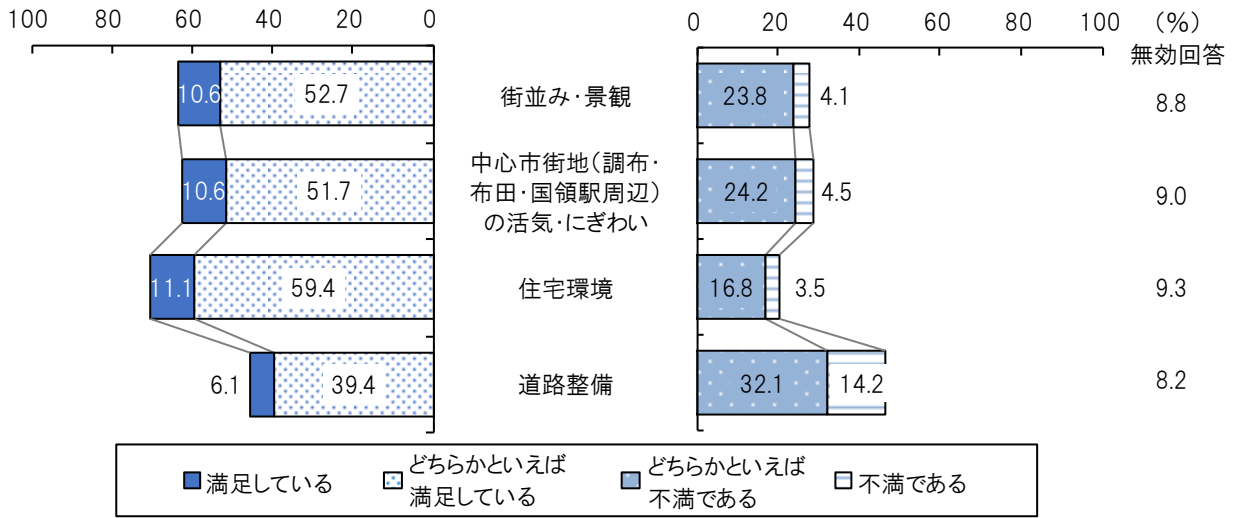
	取組項目	満足度	優先度
(18)	日常の買い物の便利さ	0.757	0.003
(19)	市内工業・商業などの活力	0.379	-0.053
(20)	市内中小企業に対する支援対策	0.373	-0.091
(21)	深大寺地域などの観光振興	0.852	-0.275
(22)	調布市花火大会	0.731	-0.449
(23)	「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	0.640	-0.365
(24)	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした芸術・文化活動	0.710	-0.472
(25)	歴史・文化財の保存や継承	0.713	-0.291



基本目標7 快適でより便利なまちをつくるために（施策21～25）

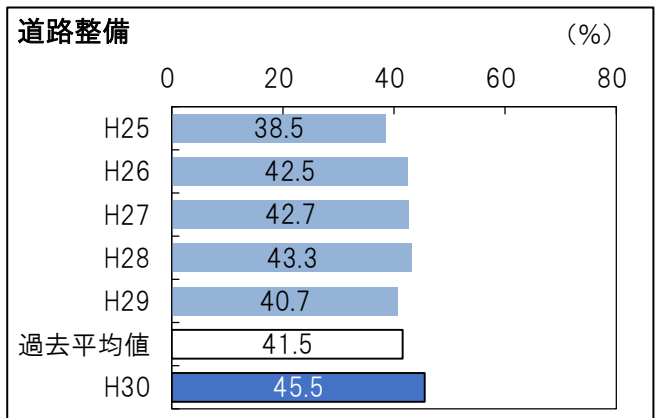
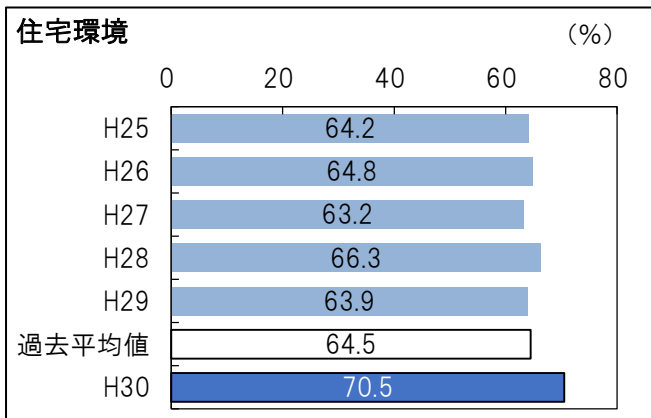
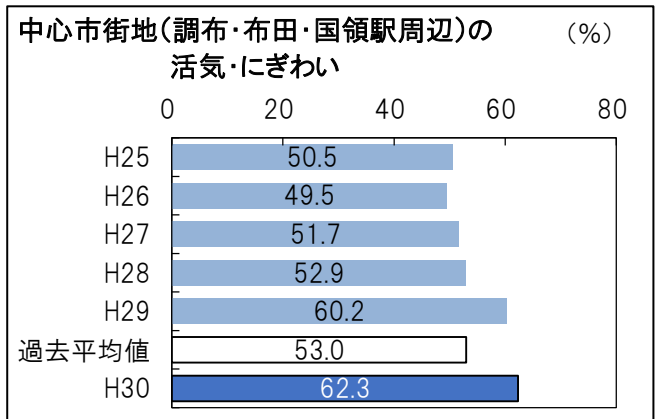
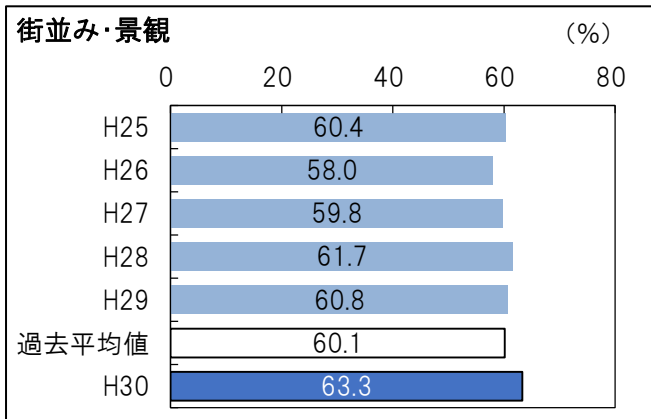
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「住宅環境」（70.5%）,「街並み・景観」（63.3%）,「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（62.3%）の順となっており、全4項目中3項目で半数を上回っています。



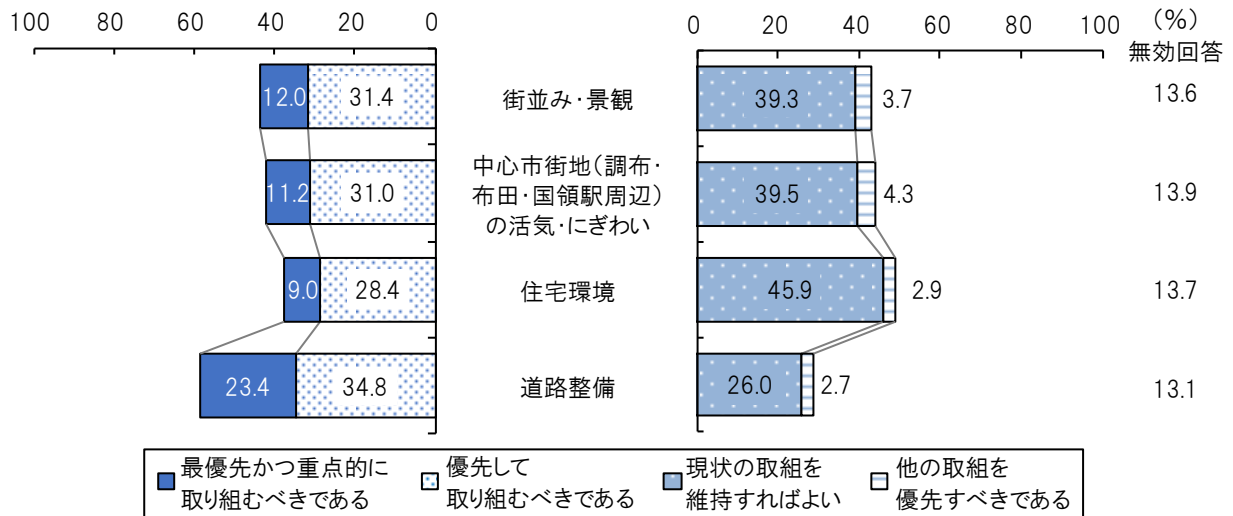
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、4項目中全てにおいて過去の平均を上回っています。



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「道路整備」(58.2%)、「街並み・景観」(43.4%)、「中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい」(42.2%)の順に多く、1項目のみ半数を上回っています。

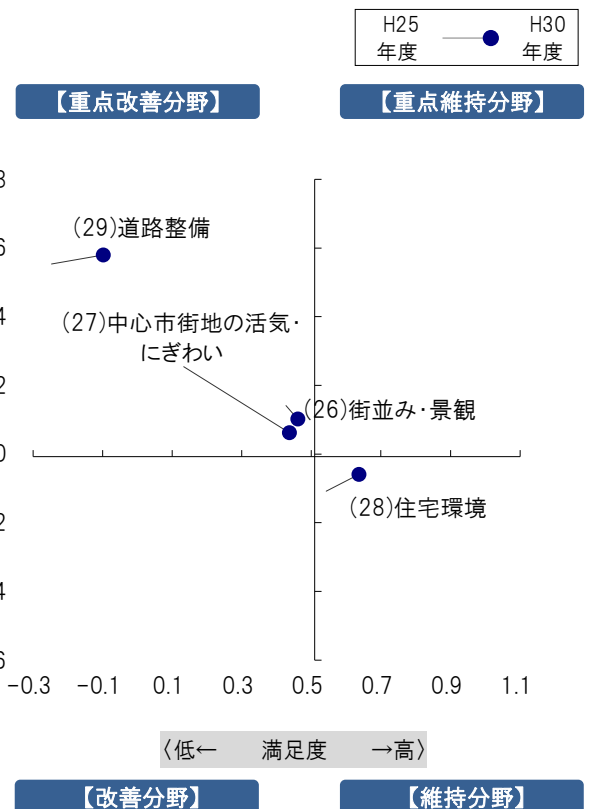


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標7 快適でより便利なまちをつくるために」の4項目中3項目が、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ、「街並み・景観」、「中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい」は満足度が増加し、優先度が減少しています。「住宅環境」、「道路整備」は満足度、優先度ともに増加しています。

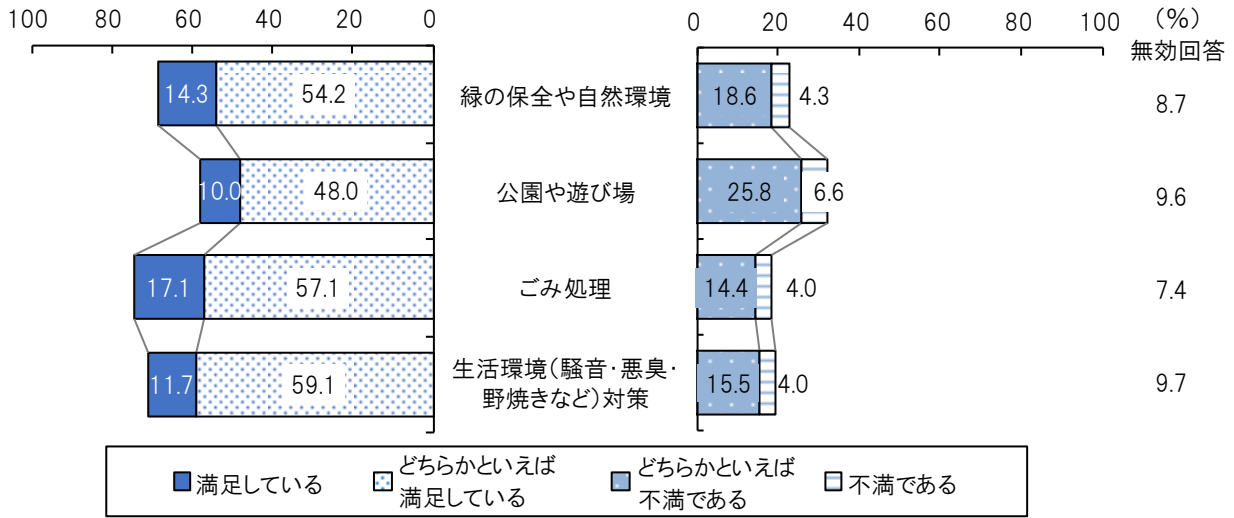
	取組項目	満足度	優先度
(26)	街並み・景観	0.462	0.101
(27)	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	0.438	0.061
(28)	住宅環境	0.637	-0.060
(29)	道路整備	-0.098	0.580



基本目標8 環境にやさしく，自然と共生するために（施策26～29）

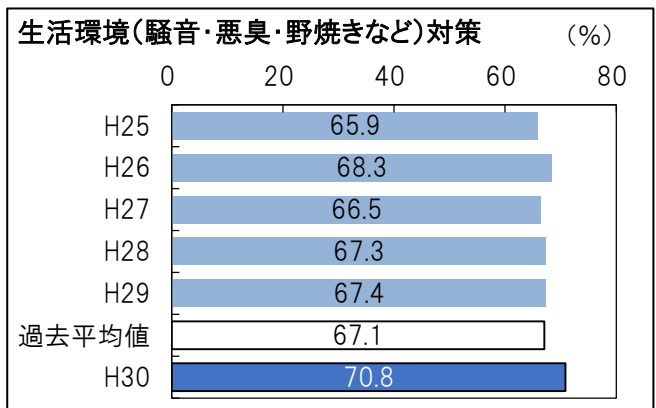
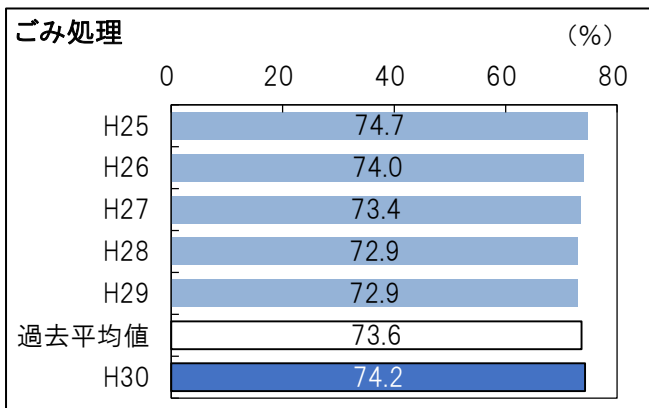
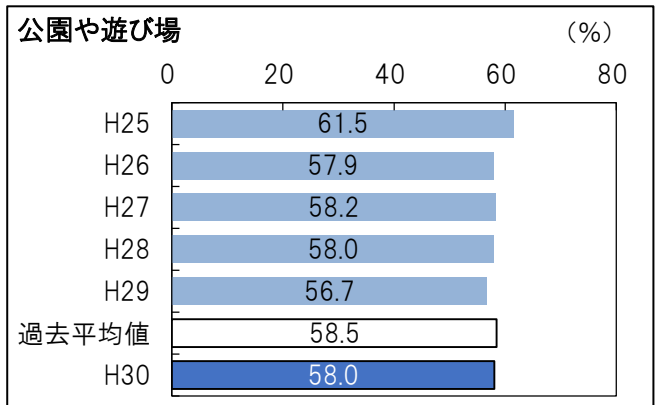
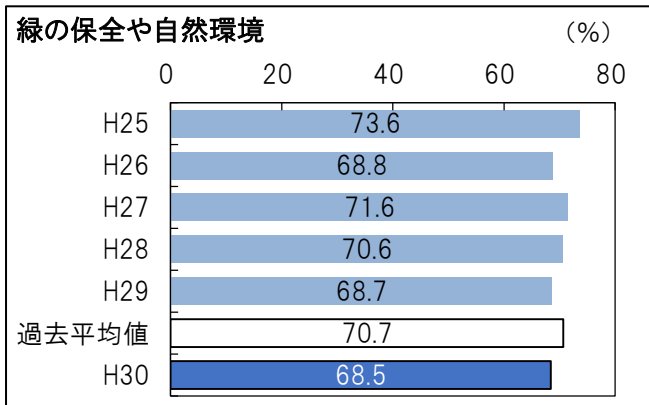
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「ごみ処理」(74.2%)，「生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策」(70.8%)，「緑の保全や自然環境」(68.5%)の順となっており，「公園や遊び場」を除きいずれも6割以上を占めています。



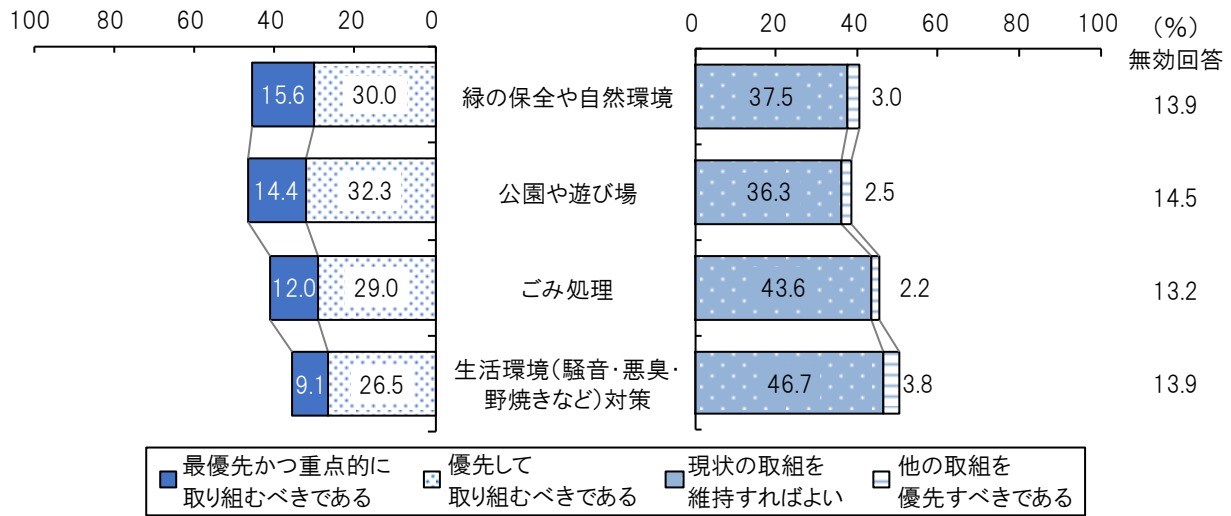
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は，全4項目中2項目において過去の平均を上回っています。



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。また「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が「生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策」では半数を上回っていますが、それ以外の項目はいずれも半数を下回っています。

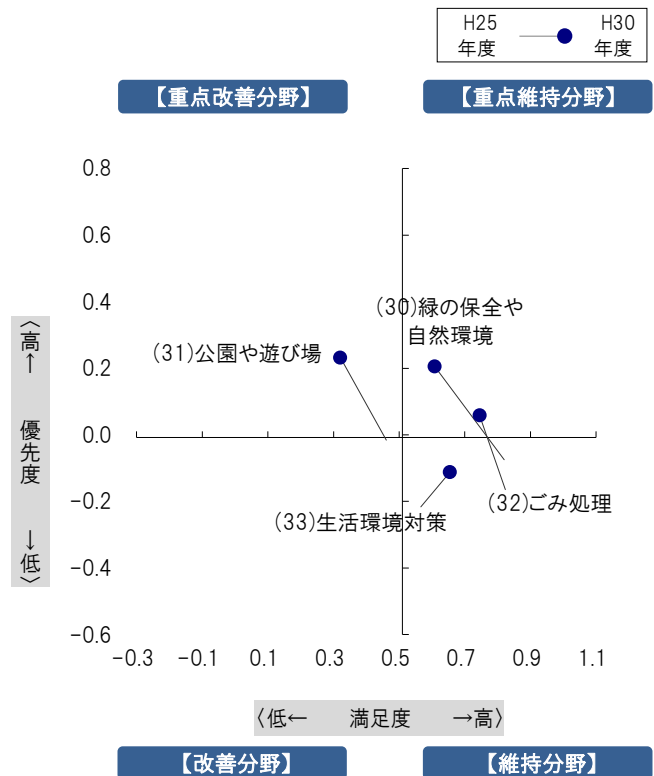


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標8 環境にやさしく，自然と共生するために」の4項目中2項目が，満足度，優先度ともに高い「重点維持分野」に該当しています。

○平成25年度の調査結果と比べ，「生活環境（騒音・悪臭・野焼きなど）対策」を除き，いずれの項目も満足度が減少し，優先度が増加しています。

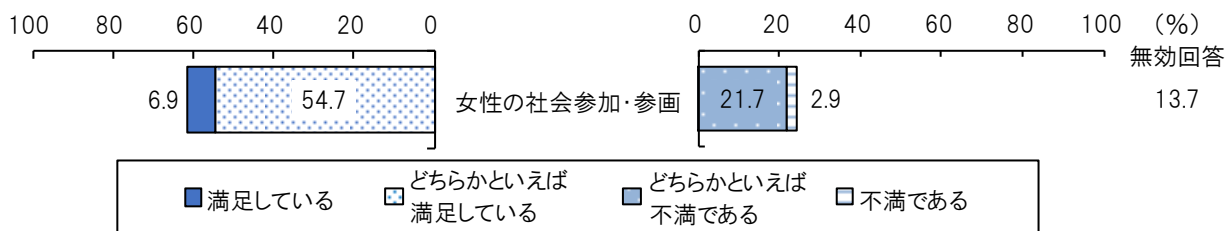
	取組項目	満足度	優先度
(30)	緑の保全や自然環境	0.609	0.205
(31)	公園や遊び場	0.321	0.232
(32)	ごみ処理	0.745	0.058
(33)	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなど)対策	0.655	-0.112



まちづくりの基本理念を実現するために (施策30~31)

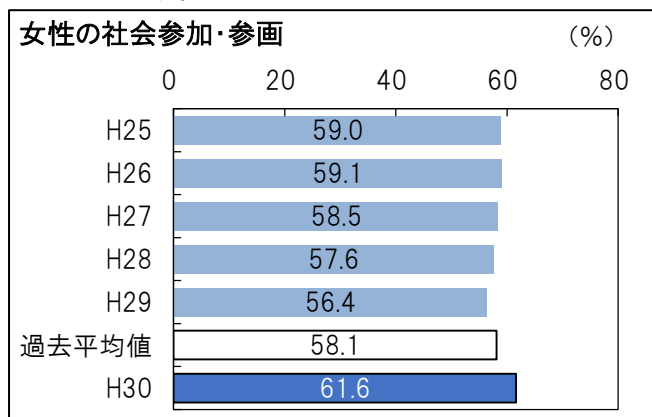
<満足度>

○「女性の社会参加・参画」の「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は(61.6%)で、半数を上回っています。



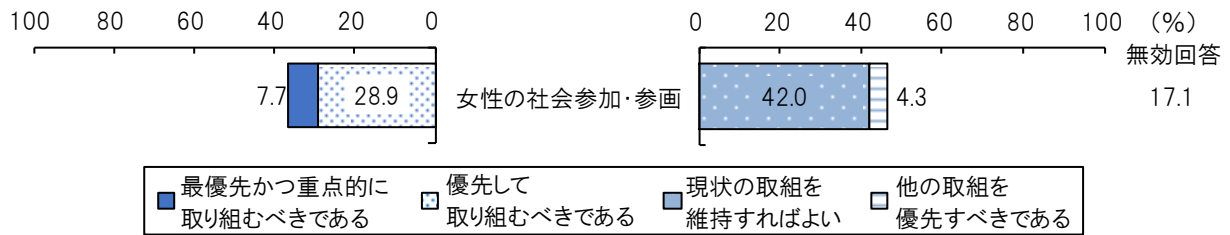
<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、過去の平均を上回っています。



<優先度>

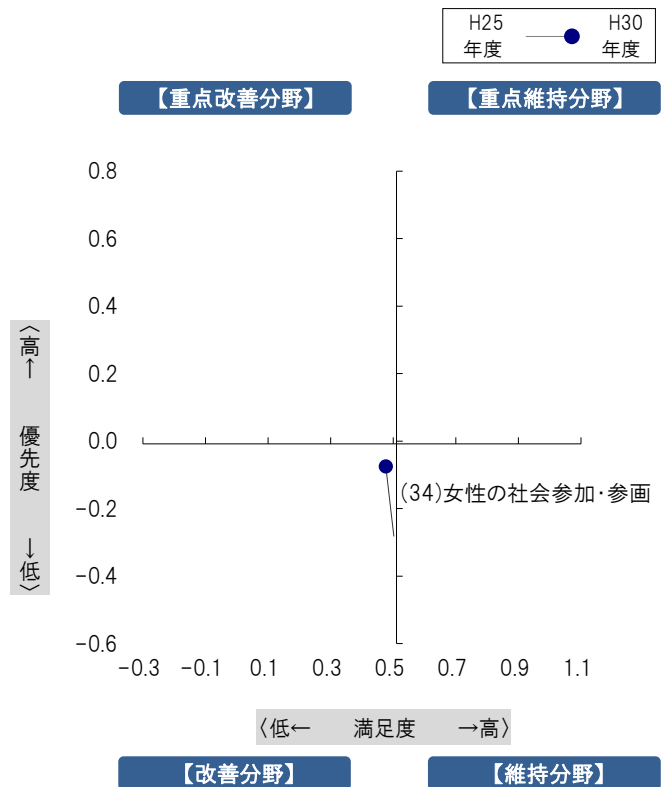
○「女性の社会参加・参画」の「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は(36.6%)で、半数を下回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「女性の社会参加・参画」は、満足度が高く、優先度が低い「改善分野」に分布しています。
- 平成25年度の調査結果と比べ、満足度がわずかに減少し、優先度が増加しています。

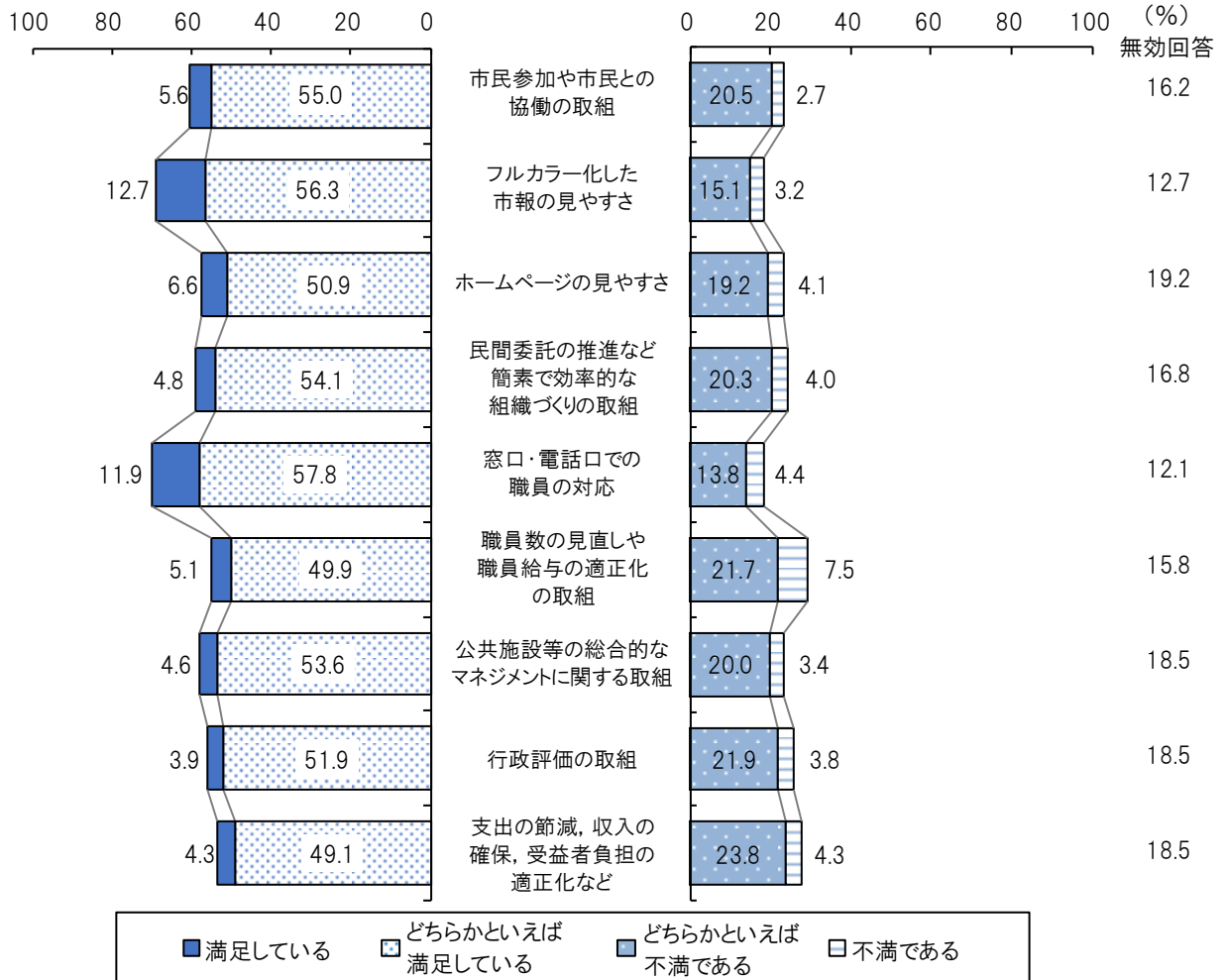
取組項目	満足度	優先度
(34) 女性の社会参加・参画	0.477	-0.076



計画を推進するために（行革プラン 2015）

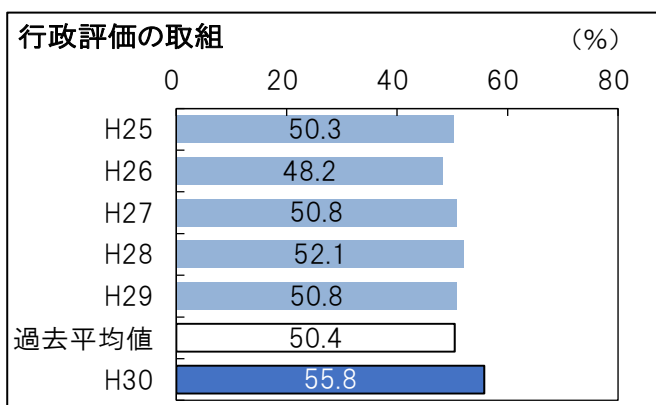
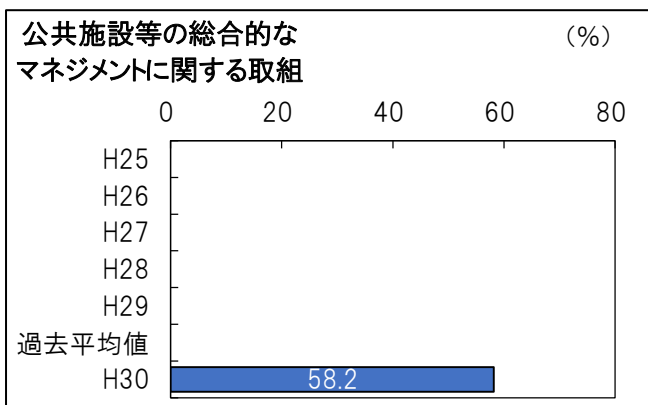
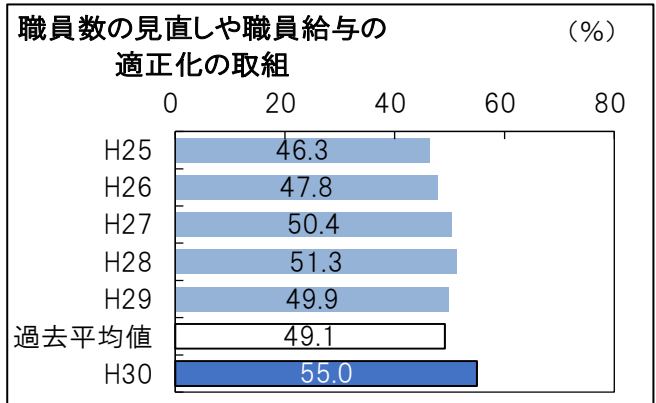
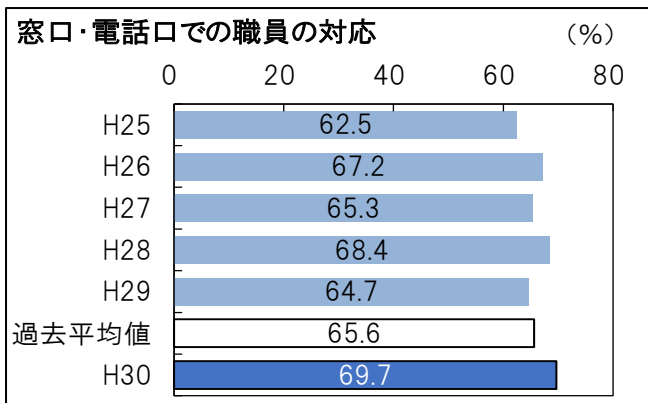
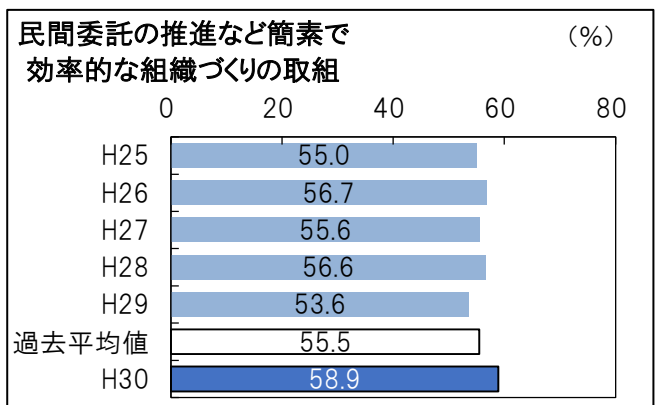
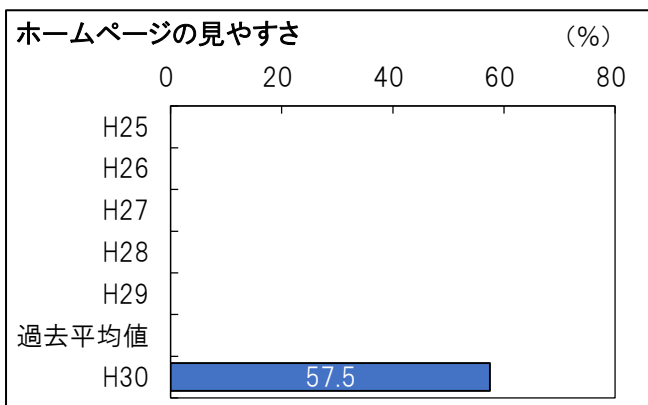
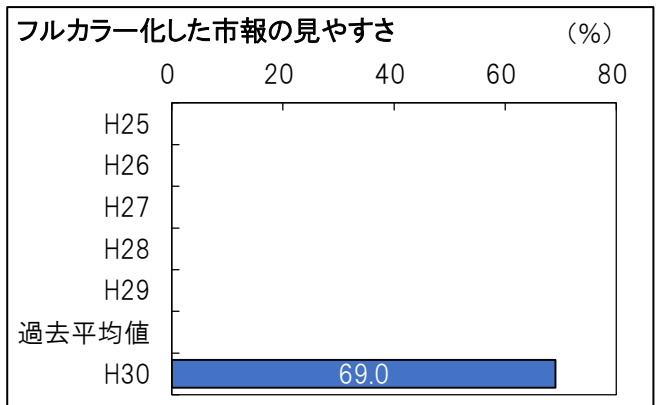
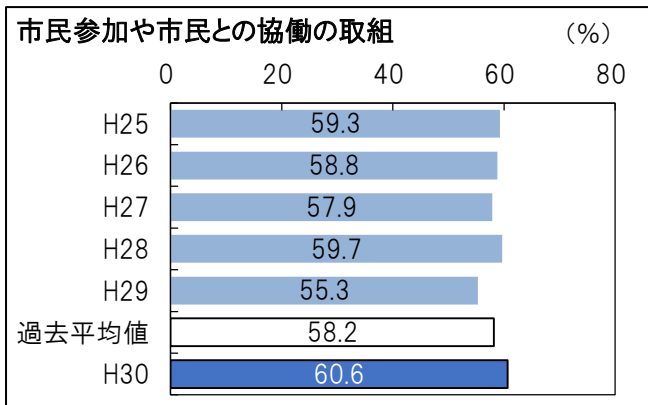
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「窓口・電話口での職員の対応」(69.7%)、「フルカラー化した市報の見やすさ」(69.0%)、「市民参加や市民との協働の取組」(60.6%)の順となっており、9項目全てで半数を上回っています。

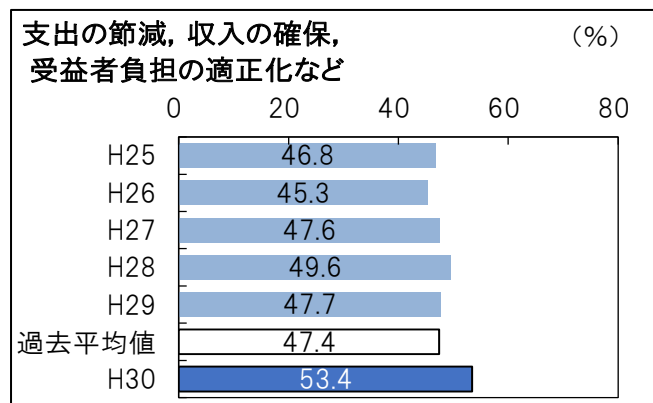


<満足度の経年推移>

○平成30年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、比較可能な6項目すべてにおいて過去の平均を上回っています。

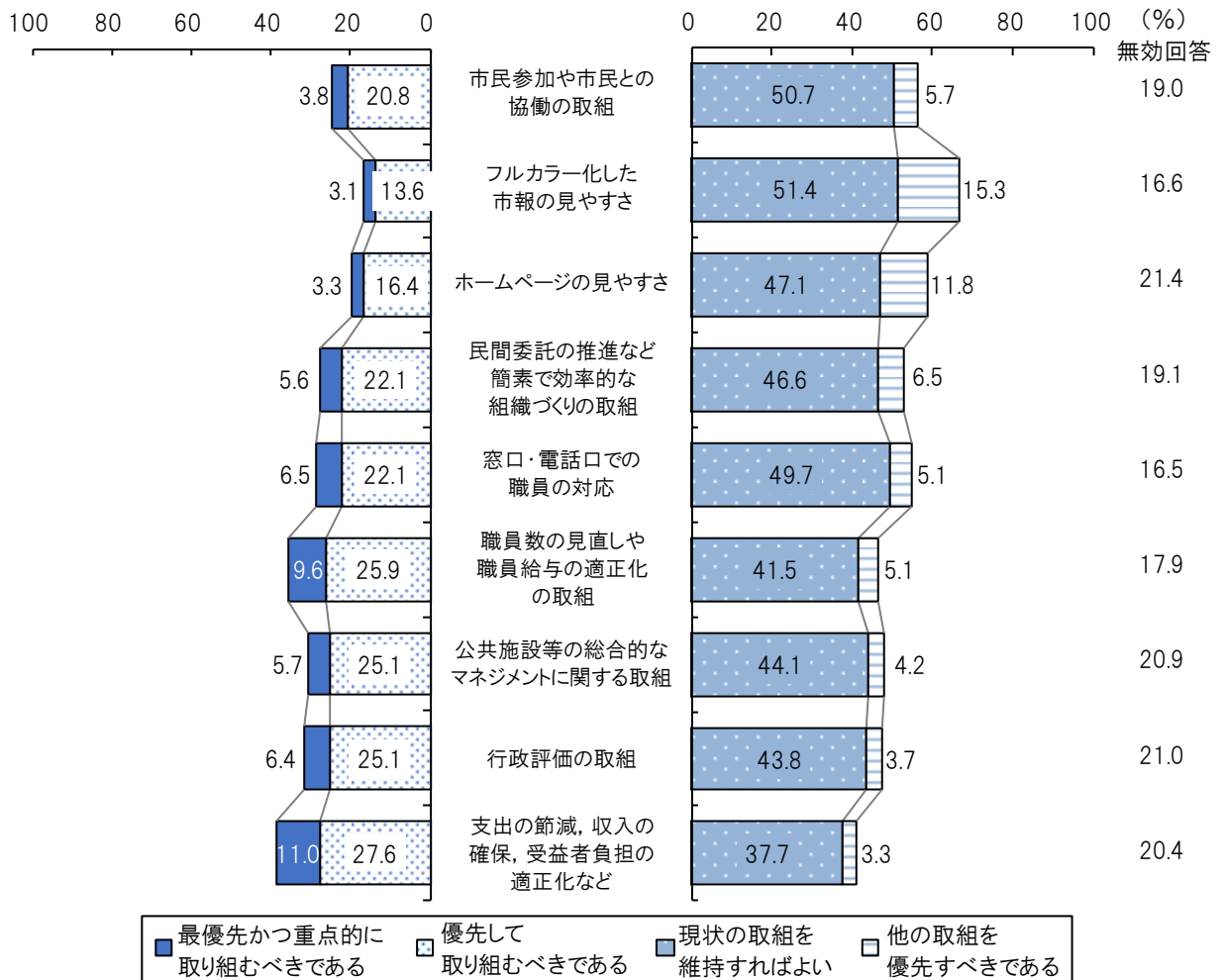


※「フルカラー化した市報の見やすさ」、「ホームページの見やすさ」、「公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組」は、平成30年度に新設した調査項目です。（平成29年度以前の調査実績はありません。）



<優先度>

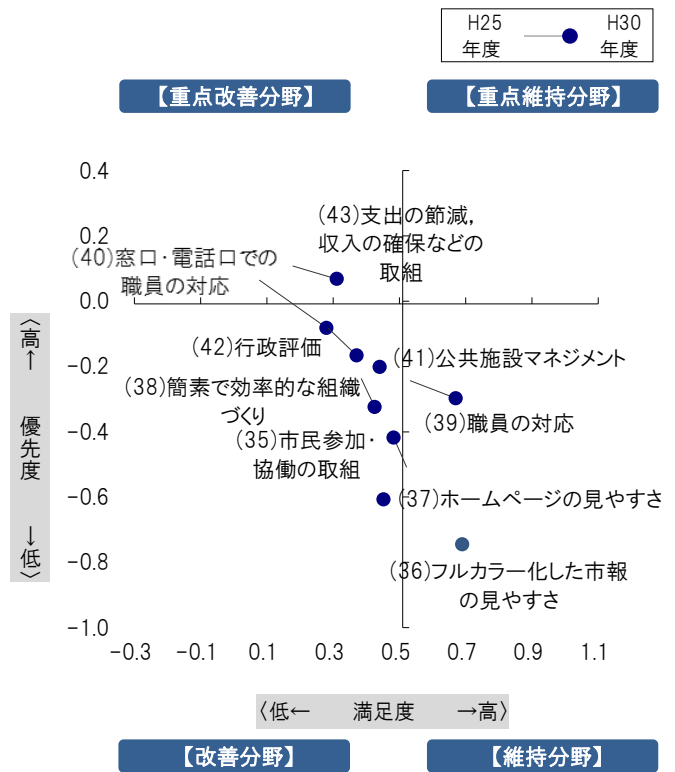
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも半数を下回っています。なお、「フルカラー化した市報の見やすさ」、「ホームページの見やすさ」、「市民参加や市民との協働の取組」、「窓口・電話口での職員の対応」、「民間委託の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組」では、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「計画を推進するために（行革プラン 2015）」の各項目は、概ね優先度が低くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など」が該当しています。
- 平成 25 年度の調査結果（(36) (37) (41)は比較対象なし）と比べ、「市民参加や市民との協働の取組」を除く全ての項目は、満足度が増加し、優先度が減少しています。「市民参加や市民との協働の取組」では、満足度が減少し、優先度が増加しています。

	取組項目	満足度	優先度
(35)	市民参加や市民との協働の取組	0.483	-0.418
(36)	フルカラー化した市報の見やすさ	0.690	-0.745
(37)	ホームページの見やすさ	0.452	-0.608
(38)	民間委託の推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.425	-0.324
(39)	窓口・電話口での職員の対応	0.670	-0.297
(40)	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.280	-0.082
(41)	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.441	-0.201
(42)	行政評価の取組	0.371	-0.167
(43)	支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など	0.311	0.068

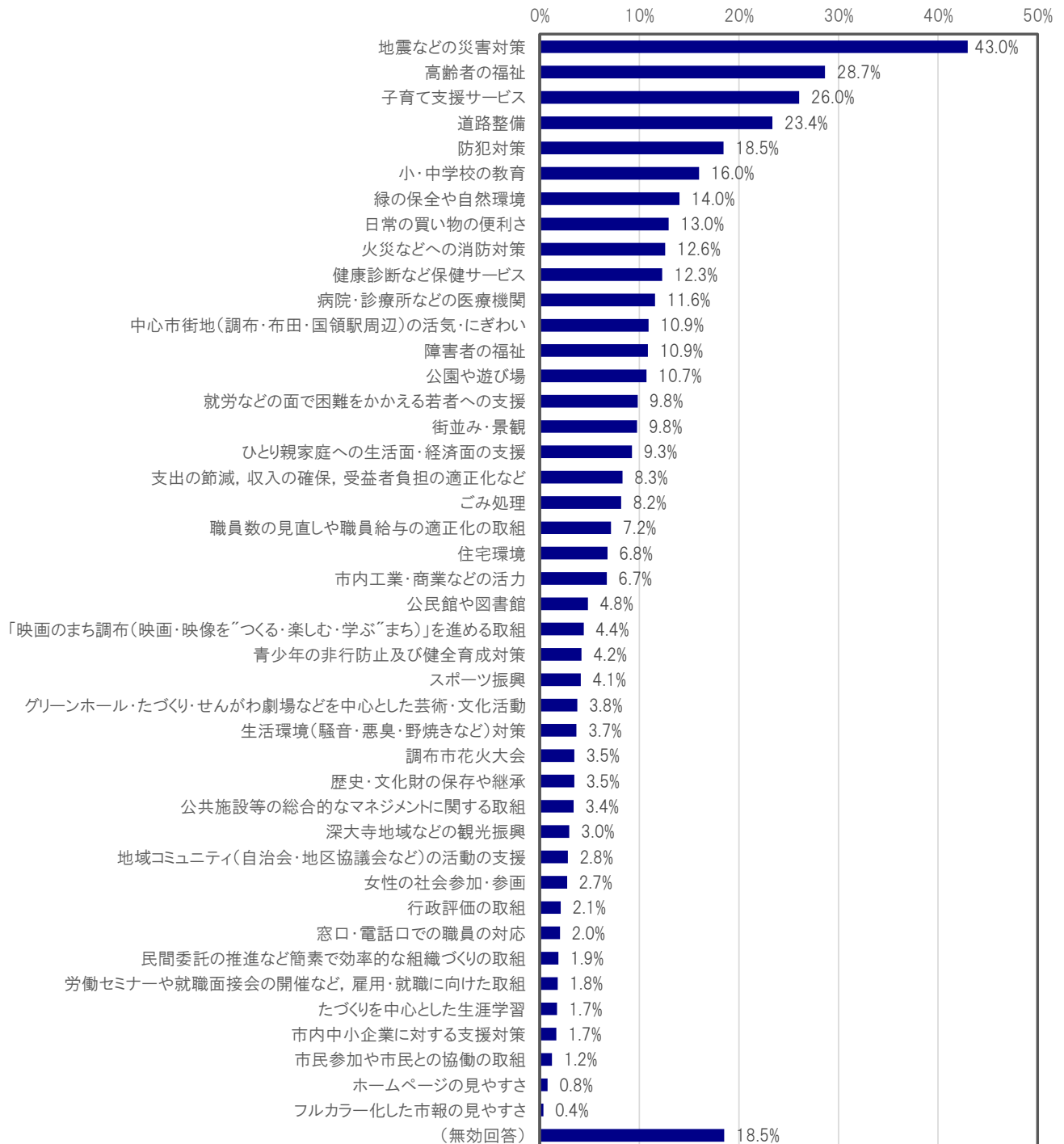


※「フルカラー化した市報の見やすさ」、「ホームページの見やすさ」、「公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組」は、平成 30 年度に新設した調査項目です（平成 29 年度以前の調査実績はありません）

問 39) 問 38 で挙げた取組項目の中で、あなたが今後、もっと市が力を入れるべきと思う取組の番号を5つまで選んでください。

<全体（n=1,382）>

○「地震などの災害対策」が43.0%で最も多く、次いで「高齢者の福祉」の28.7%、「子育て支援サービス」の26.0%となっています。



<経年比較>

○平成25年度から平成30年度まで、「地震などの災害対策」が最も多くなっています。

○「地震などの災害対策」（43.0%）は、平成29年度（33.6%）に比べて9.4ポイント増加しています。

	H30 [n=1,382]	H29 [n=1,374]	H28 [n=1,482]	H27 [n=1,472]	H26 [n=1,491]	H25 [n=1,552]
第1位	地震などの災害対策 43.0%	地震などの災害対策 33.6%	地震などの災害対策 36.2%	地震などの災害対策 35.1%	地震などの災害対策 33.9%	地震などの災害対策 34.9%
第2位	高齢者の福祉 28.7%	高齢者の福祉 26.9%	高齢者の福祉 27.1%	高齢者の福祉 26.3%	高齢者の福祉 25.3%	道路整備 26.4%
第3位	子育て支援サービス 26.0%	子育て支援サービス 25.8%	道路整備 26.0%	道路整備 25.3%	道路整備 24.7%	高齢者の福祉 18.5%
第4位	道路整備 23.4%	道路整備 23.1%	子育て支援サービス 20.8%	子育て支援サービス 19.8%	子育て支援サービス 19.8%	防犯対策 17.6%
第5位	防犯対策 18.5%	防犯対策 20.2%	緑の保全や自然環境 14.4%	防犯対策 15.9%	防犯対策 16.9%	子育て支援サービス 17.5%

<年齢層別>

○16～29歳と40～59歳と65歳以上の年齢層で、「地震などの災害対策」が最も多くなっています。特に、20歳代では半数を超えています。30～39歳では「子育て支援サービス」、60～64歳では「高齢者の福祉」が最も多くなっています。

○16～29歳と40～49歳では「子育て支援サービス」、30～39歳と60～64歳では「地震などの災害対策」、50～59歳と65歳以上では「高齢者の福祉」が、それぞれ2番目に多くなっています。

【図表 今後、もっと市が力を入れるべきと思う取組（年齢層別、上位5位）】

	全体 [n=1,382]	16～19歳 [n=30]	20～29歳 [n=98]	30～39歳 [n=192]	40～49歳 [n=243]
第1位	地震などの災害対策 43.0%	地震などの災害対策 40.0%	地震などの災害対策 52.0%	子育て支援サービス 52.1%	地震などの災害対策 49.8%
第2位	高齢者の福祉 28.7%	子育て支援サービス 30.0%	子育て支援サービス 35.7%	地震などの災害対策 47.9%	子育て支援サービス 30.9%
第3位	子育て支援サービス 26.0%	日常の買い物の 便利さ(同率) 23.3%	道路整備 27.6%	道路整備(同率) 25.0%	道路整備 30.5%
第4位	道路整備 23.4%	中心市街地(調 布・布田・国領 駅周辺)の活気・ にぎわい(同率) 23.3%	防犯対策 21.4%	公園や遊び場 (同率) 25.0%	小・中学校の教 育 27.2%
第5位	防犯対策 18.5%	公園や遊び場 (同率) 23.3%	高齢者の福祉 18.4%	小・中学校の教 育 23.4%	高齢者の福祉 26.3%

【図表 今後、もっと市が力を入れるべきと思う取組（年齢層別、上位5位）】

	50～59歳 [n=216]	60～64歳 [n=99]	65～69歳 [n=109]	70～74歳 [n=200]	75歳以上 [n=183]
第1位	地震などの災害対策 45.8%	高齢者の福祉 39.4%	地震などの災害対策 47.7%	地震などの災害対策 33.5%	地震などの災害対策 32.2%
第2位	高齢者の福祉 36.6%	地震などの災害対策 38.4%	高齢者の福祉 42.2%	高齢者の福祉 30.5%	高齢者の福祉 29.0%
第3位	道路整備 26.4%	道路整備 21.2%	子育て支援サービス 24.8%	緑の保全や自然環境 19.5%	道路整備 17.5%
第4位	防犯対策(同率) 19.4%	防犯対策(同率) 19.2%	防犯対策 22.0%	道路整備 18.5%	防犯対策 16.4%
第5位	子育て支援サービス(同率) 19.4%	子育て支援サービス(同率) 19.2%	道路整備 20.2%	防犯対策 17.5%	子育て支援サービス 14.2%

<地域別>

- いずれの地域でも「地震などの災害対策」が最も多くなっています。
- 東部地域以外の地域では「高齢者の福祉」が2番目に、「子育て支援サービス」が3番目に多くなっています。
- 東部地域では「子育て支援サービス」が2番目に、「高齢者の福祉」と「道路整備」が同率で3番目に多くなっています。

【図表 今後、もっと市が力を入れるべきと思う取組（地域別、上位5位）】

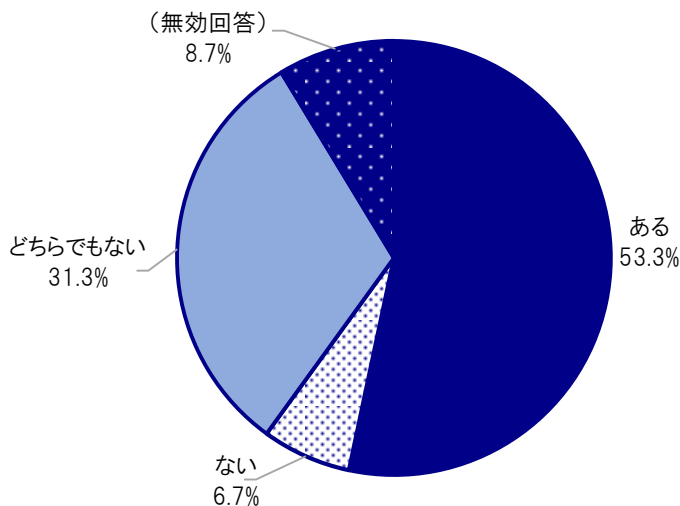
	全体[n=1,382]	西部地域 [n=259]	北部地域 [n=287]	南部地域 (中心市街地) [n=210]	南部地域(中心 市街地以外) [n=268]	東部地域 [n=322]
第1位	地震などの災害対策 43.0%	地震などの災害対策 41.7%	地震などの災害対策 40.1%	地震などの災害対策 41.0%	地震などの災害対策 45.9%	地震などの災害対策 47.5%
第2位	高齢者の福祉 28.7%	高齢者の福祉 26.3%	高齢者の福祉 32.8%	高齢者の福祉 24.3%	高齢者の福祉 31.7%	子育て支援サービス 28.6%
第3位	子育て支援サービス 26.0%	子育て支援サービス 22.8%	子育て支援サービス 26.1%	子育て支援サービス 23.3%	子育て支援サービス 28.7%	高齢者の福祉 (同率) 28.3%
第4位	道路整備 23.4%	道路整備 22.0%	道路整備 25.4%	防犯対策 21.9%	防犯対策 22.8%	道路整備(同率) 28.3%
第5位	防犯対策 18.5%	防犯対策 20.5%	小・中学校の教育 17.1%	道路整備 19.5%	道路整備 21.6%	防犯対策 16.5%

【今後の定住意向について】

問 40) あなたは、調布のまちに愛着や誇りを感じるところ（物・事）はありますか。

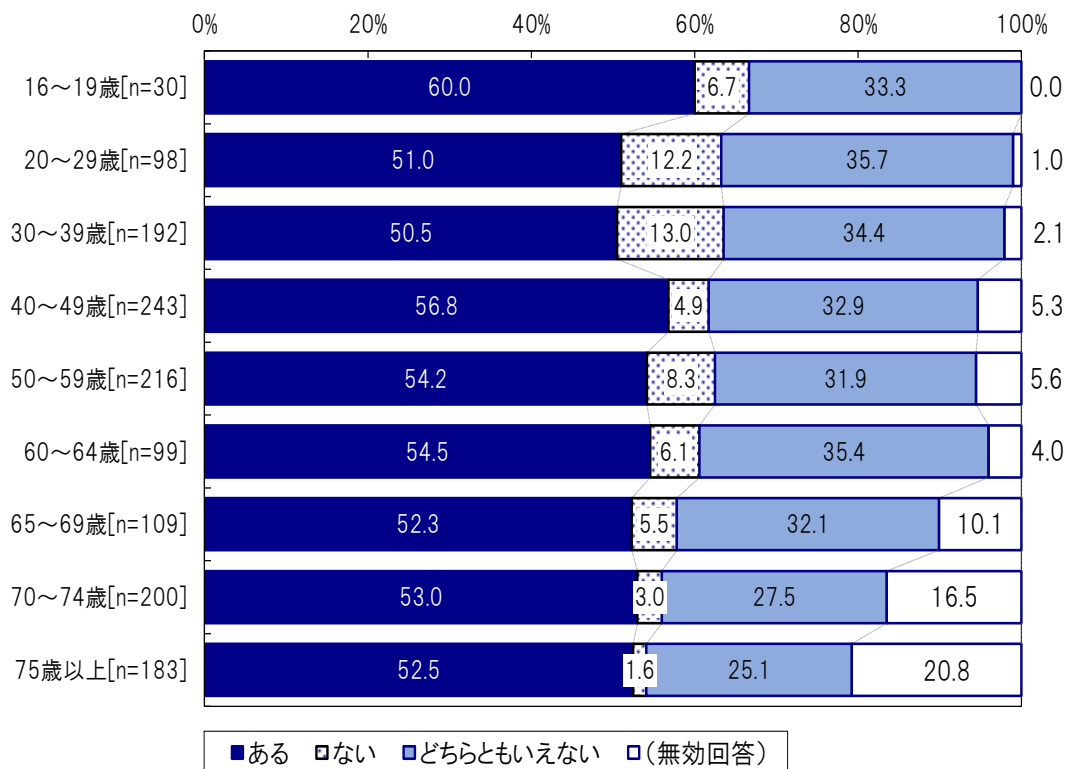
<全体（n=1,382）>

○「ある」が53.3%で、平成29年度（55.7%）と同様に半数以上を占めています。



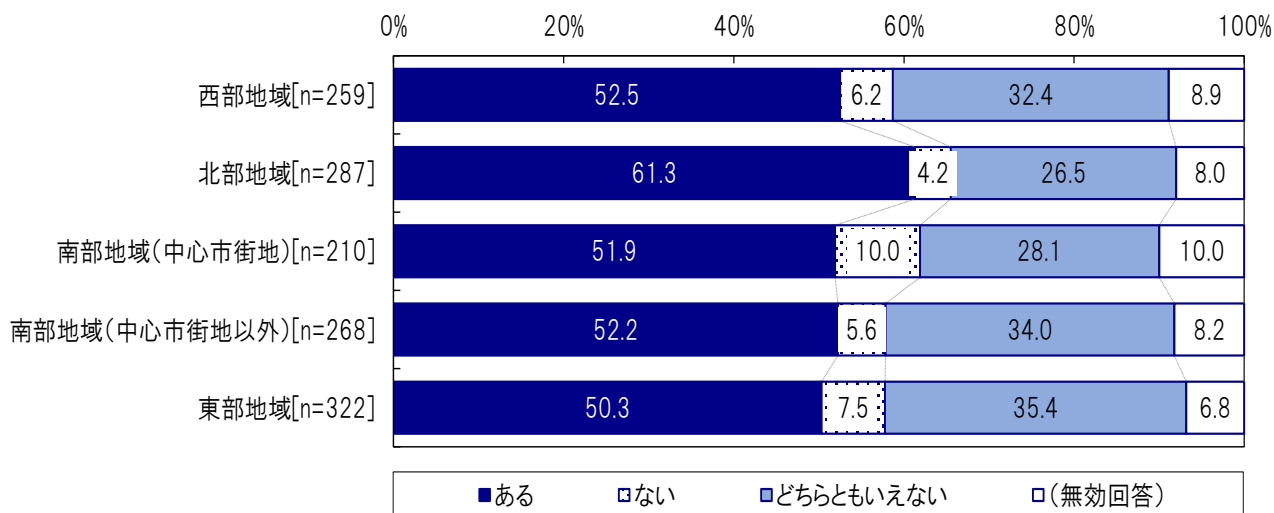
<年齢層別>

○どの年齢層でも「ある」が半数を上回っています。



<地域別>

○いずれの地域でも、「ある」が半数を上回っており、特に北部地域では6割を上回っています。



愛着や誇りを感じる場所はありますか。(3つまで自由にお書きください。)

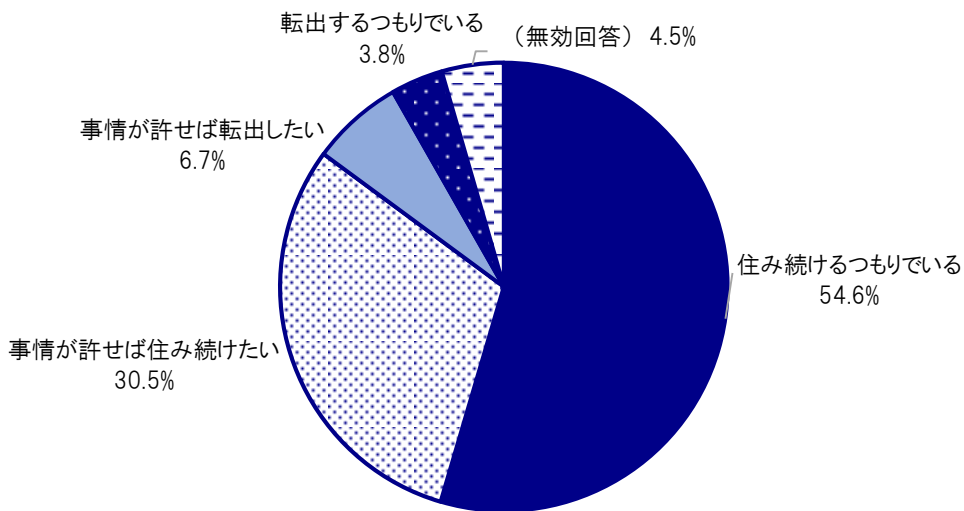
<自由記述>主な意見を原文のまま抜粋

自然の豊かさ	多摩川
野川ライトアップ	歴史ある街
深大寺	神代植物公園
深大寺の釈迦如来像	水木しげる先生
花火大会	都心にも近い
交通の利便性	生活のしやすさ
映画のまち	シアタス調布
FC 東京	味の素スタジアム

問 41) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。

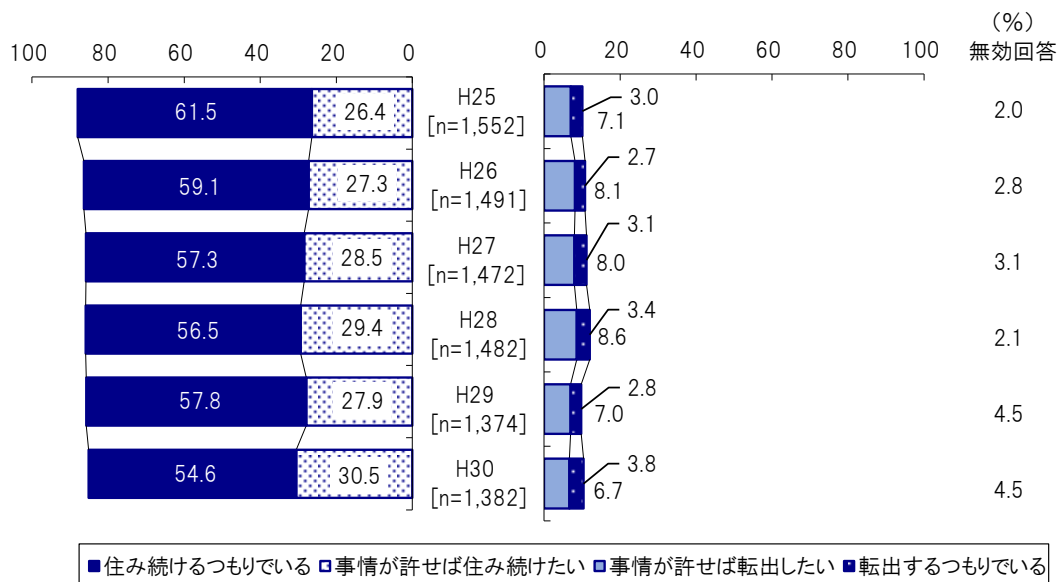
<全体 (n=1,382) >

○「住み続けるつもりでいる」が54.6%、「事情が許せば住み続けたい」が30.5%で、合計すると8割以上(85.1%)を占めています。



<経年比較>

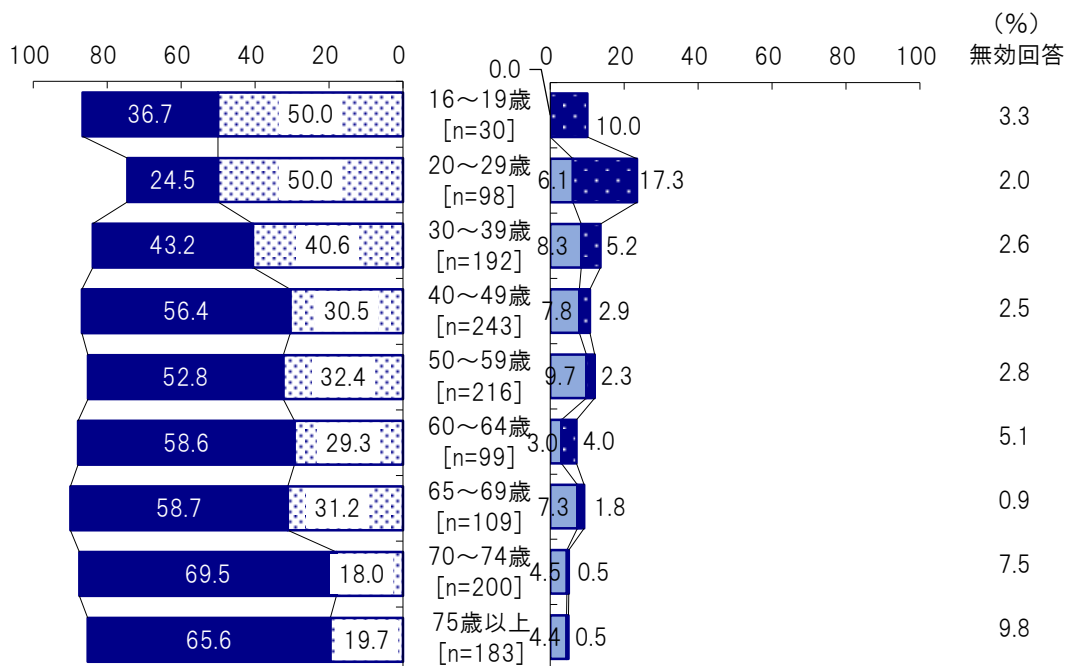
○平成25年度以降、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計は、8割以上になっています。



<年齢層別>

○20～29歳以外の年齢層で「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が8割を超えています。

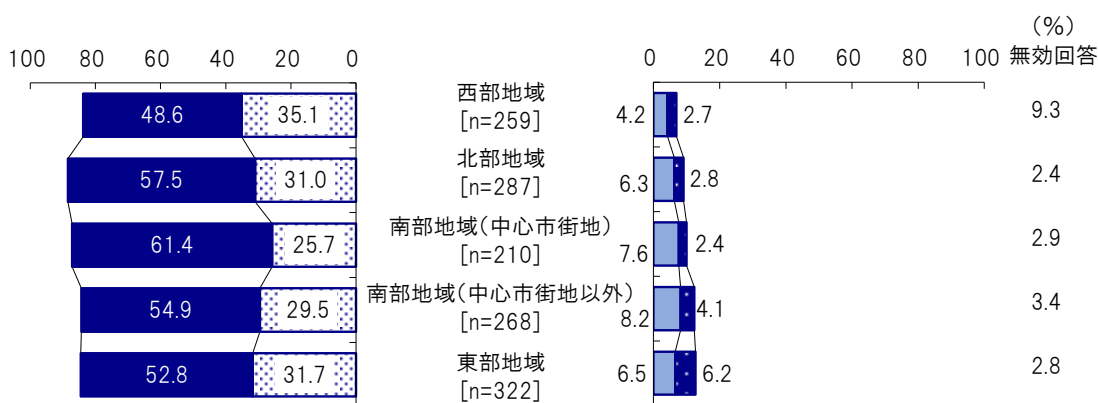
○一方、20～29歳では「転出するつもりでいる」と「事情が許せば転出したい」の合計が2割を超えています。「転出したい理由」の<年齢層別>については、180ページ参照。



■住み続けるつもりでいる □事情が許せば住み続けたい ■事情が許せば転出したい ■転出するつもりでいる

<地域別>

○いずれの地域でも、「住み続けるつもりでいる」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が8割以上になっています。

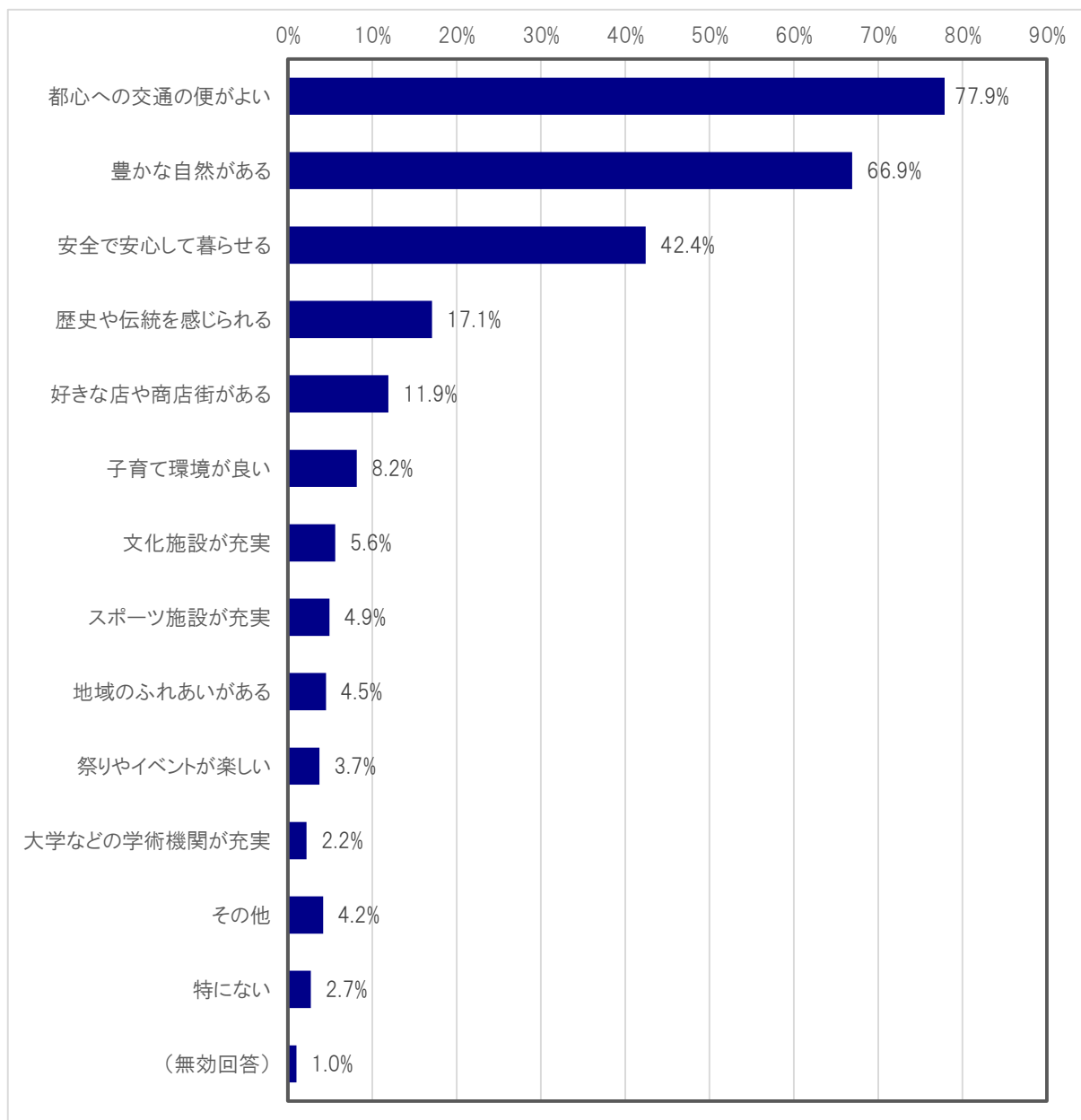


■住み続けるつもりでいる □事情が許せば住み続けたい ■事情が許せば転出したい ■転出するつもりでいる

問 42) 問 41 で「1 住み続けるつもりでいる」または「2 事情が許せば住み続けたい」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。（※複数回答可）

<全体（n=1,176）>

○「都心への交通の便がよい」が77.9%で最も多く、次いで「豊かな自然がある」の66.9%、「安全で安心して暮らせる」の42.4%の順となっています。



※「調布市から転出意向にある方の転出意向理由」については、179 ページ参照

<年齢層別>

○どの年齢層でも「都心への交通の便がよい」が最も多くなっています。

○2番目をみると、20歳代以外は「豊かな自然がある」となっています。20歳代では「安全で安心して暮らせる」が2番目となっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
都心への交通の便がよい	916 77.9%	20 76.9%	57 78.1%	112 69.6%	163 77.3%	143 77.7%	75 86.2%	80 81.6%	139 79.4%	123 78.8%
豊かな自然がある	787 66.9%	14 53.8%	26 35.6%	82 50.9%	138 65.4%	132 71.7%	67 77.0%	72 73.5%	136 77.7%	118 75.6%
安全で安心して暮らせる	499 42.4%	12 46.2%	43 58.9%	70 43.5%	84 39.8%	86 46.7%	32 36.8%	36 36.7%	66 37.7%	68 43.6%
歴史や伝統を感じられる	201 17.1%	2 7.7%	13 17.8%	12 7.5%	27 12.8%	34 18.5%	16 18.4%	17 17.3%	42 24.0%	38 24.4%
好きな店や商店街がある	140 11.9%	2 7.7%	16 21.9%	26 16.1%	22 10.4%	26 14.1%	11 12.6%	11 11.2%	15 8.6%	11 7.1%
子育て環境が良い	96 8.2%	0 0.0%	4 5.5%	35 21.7%	29 13.7%	9 4.9%	5 5.7%	2 2.0%	8 4.6%	4 2.6%
文化施設が充実	66 5.6%	1 3.8%	5 6.8%	7 4.3%	14 6.6%	10 5.4%	2 2.3%	6 6.1%	12 6.9%	9 5.8%
スポーツ施設が充実	58 4.9%	3 11.5%	1 1.4%	6 3.7%	10 4.7%	10 5.4%	3 3.4%	4 4.1%	17 9.7%	4 2.6%
地域のふれあいがある	53 4.5%	1 3.8%	1 1.4%	7 4.3%	8 3.8%	6 3.3%	2 2.3%	5 5.1%	12 6.9%	11 7.1%
祭りやイベントが楽しい	44 3.7%	3 11.5%	3 4.1%	8 5.0%	8 3.8%	8 4.3%	1 1.1%	4 4.1%	5 2.9%	4 2.6%
大学などの学術機関が充実	26 2.2%	1 3.8%	0 0.0%	2 1.2%	8 3.8%	2 1.1%	1 1.1%	1 1.0%	9 5.1%	2 1.3%
その他	49 4.2%	0 0.0%	2 2.7%	9 5.6%	16 7.6%	8 4.3%	3 3.4%	2 2.0%	2 1.1%	6 3.8%
特にない	32 2.7%	1 3.8%	4 5.5%	8 5.0%	5 2.4%	3 1.6%	2 2.3%	3 3.1%	2 1.1%	4 2.6%
(無効回答)	12 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.9%	0 0.0%	1 0.5%	1 1.1%	2 2.0%	0 0.0%	5 3.2%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

<地域別>

○転出したい理由は地域ごとに傾向が異なっており、西部地域、南部地域（中心市街地）、東部地域では「都心への交通の便が良い」が最も多くなっています。北部地域と南部地域（中心市街地以外）では「豊かな自然がある」が最も多くなっています。

選択肢	全体	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地 以外)	東部地域
都心への交通の便がよい	916 77.9%	169 77.9%	177 69.7%	154 84.2%	181 80.1%	218 80.1%
豊かな自然がある	787 66.9%	138 63.6%	215 84.6%	107 58.5%	146 64.6%	163 59.9%
安全で安心して暮らせる	499 42.4%	82 37.8%	98 38.6%	77 42.1%	108 47.8%	127 46.7%
歴史や伝統を感じられる	201 17.1%	34 15.7%	61 24.0%	30 16.4%	33 14.6%	38 14.0%
好きな店や商店街がある	140 11.9%	25 11.5%	16 6.3%	24 13.1%	26 11.5%	48 17.6%
子育て環境が良い	96 8.2%	19 8.8%	34 13.4%	13 7.1%	15 6.6%	14 5.1%
文化施設が充実	66 5.6%	16 7.4%	14 5.5%	8 4.4%	14 6.2%	14 5.1%
スポーツ施設が充実	58 4.9%	16 7.4%	13 5.1%	6 3.3%	8 3.5%	14 5.1%
地域のふれあいがある	53 4.5%	12 5.5%	15 5.9%	11 6.0%	8 3.5%	7 2.6%
祭りやイベントが楽しい	44 3.7%	4 1.8%	9 3.5%	12 6.6%	15 6.6%	4 1.5%
大学などの学術機関が充実	26 2.2%	5 2.3%	8 3.1%	3 1.6%	1 0.4%	9 3.3%
その他	49 4.2%	8 3.7%	5 2.0%	8 4.4%	7 3.1%	18 6.6%
特にない	32 2.7%	6 2.8%	6 2.4%	4 2.2%	7 3.1%	7 2.6%
(無効回答)	12 1.0%	4 1.8%	1 0.4%	2 1.1%	2 0.9%	2 0.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

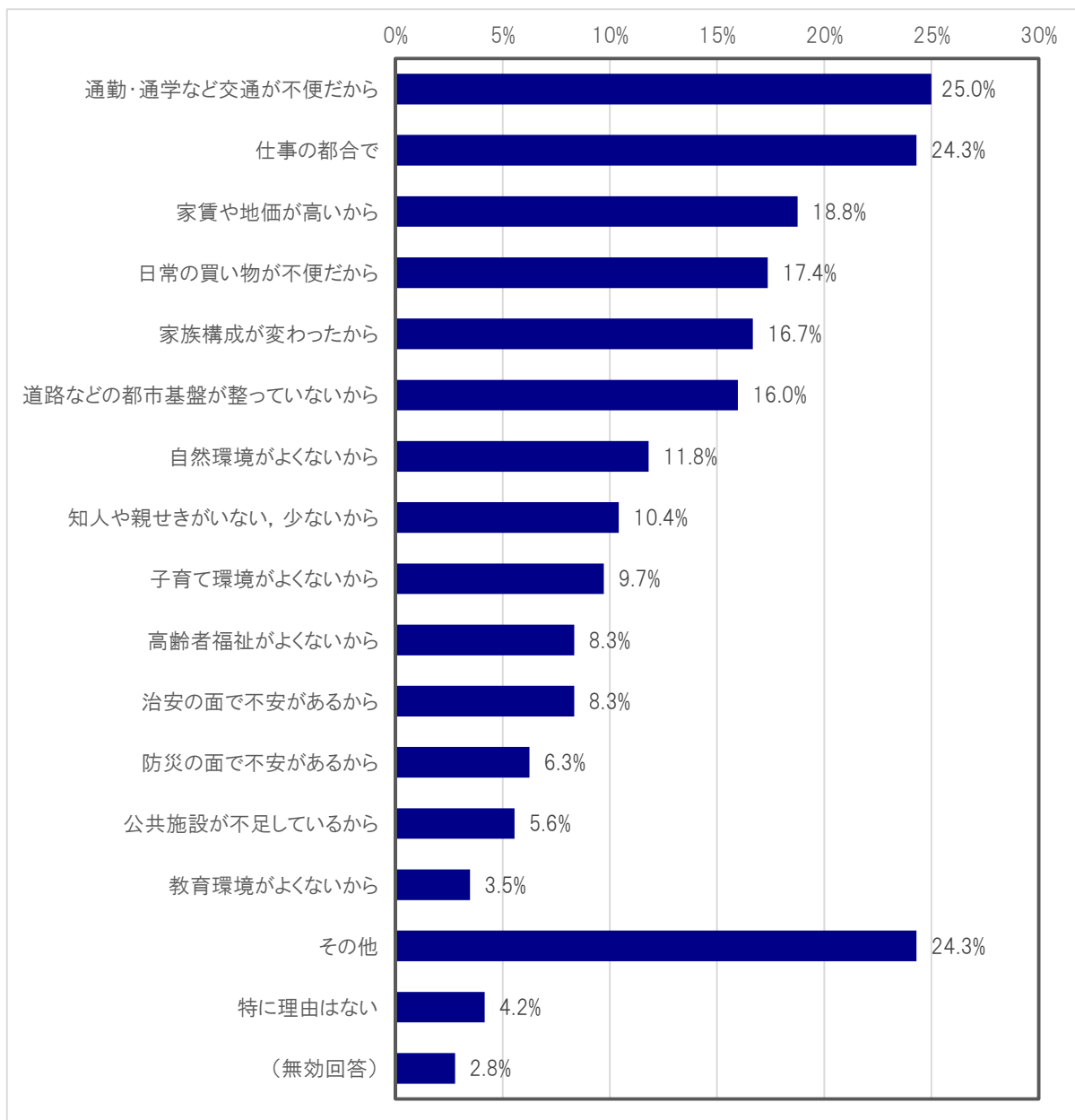
回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

問 43) 問 41 で「3 事情が許せば転出したい」または「4 転出するつもりである」のいずれかを選んだ方にかがいます。そう思う理由について、次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。（※複数回答可）

<全体（n=144）>

○「通勤・通学など交通が不便だから」が 25.0%で最も多く、次いで「仕事の都合で」の 24.3%、「家賃や地価が高いから」の 18.8%の順となっています。



※「調布市に定住意向のある方が感じている調布のまちの魅力や個性・特色」については、176 ページ参照

<年齢層別>

○転出したい理由は年齢層ごとに傾向が異なっており、20～49歳では、「仕事の都合で」と「通勤・通学など交通が不便だから」、50歳以上では、「日常の買い物が不便だから」と「家族構成が変わったから」が多くなっています。

○60～64歳では「道路などの都市基盤が整っていないから」と「家賃や地価が高いから」も多くなっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
通勤・通学など交通が不便だから	36 25.0%	0 0.0%	11 47.8%	8 30.8%	8 30.8%	3 11.5%	1 14.3%	2 20.0%	1 10.0%	1 11.1%
仕事の都合で	35 24.3%	0 0.0%	10 43.5%	11 42.3%	6 23.1%	3 11.5%	1 14.3%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
家賃や地価が高いから	27 18.8%	1 33.3%	2 8.7%	6 23.1%	6 23.1%	4 15.4%	2 28.6%	2 20.0%	0 0.0%	2 22.2%
日常の買い物が不便だから	25 17.4%	0 0.0%	2 8.7%	3 11.5%	4 15.4%	6 23.1%	2 28.6%	2 20.0%	3 30.0%	3 33.3%
家族構成が変わったから	24 16.7%	0 0.0%	1 4.3%	2 7.7%	2 7.7%	6 23.1%	2 28.6%	4 40.0%	6 60.0%	1 11.1%
道路などの都市基盤が整っていないから	23 16.0%	0 0.0%	3 13.0%	4 15.4%	5 19.2%	5 19.2%	2 28.6%	1 10.0%	2 20.0%	1 11.1%
自然環境がよくないから	17 11.8%	1 33.3%	1 4.3%	5 19.2%	6 23.1%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 22.2%
知人や親せきがない、少ないから	15 10.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	3 11.5%	5 19.2%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
子育て環境がよくないから	14 9.7%	0 0.0%	1 4.3%	5 19.2%	7 26.9%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
高齢者福祉がよくないから	12 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	2 7.7%	2 28.6%	4 40.0%	1 10.0%	2 22.2%
治安の面で不安があるから	12 8.3%	0 0.0%	2 8.7%	3 11.5%	0 0.0%	4 15.4%	1 14.3%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%
防災の面で不安があるから	9 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	2 7.7%	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 11.1%
公共施設が不足しているから	8 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.7%	2 7.7%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
教育環境がよくないから	5 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	3 11.5%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	35 24.3%	3 100.0%	5 21.7%	5 19.2%	5 19.2%	5 19.2%	1 14.3%	5 50.0%	2 20.0%	3 33.3%
特に理由はない	6 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
(無効回答)	4 2.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 11.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

<地域別>

○転出したい理由は地域ごとに傾向が異なっており、西部地域、東部地域では「仕事の都合で」が最も多くなっています。北部地域では「通勤・通学など交通が不便だから」が最も多くなっています。南部地域（中心市街地）と南部地域（中心市街地以外）では、「その他」が最も多くなっています。

選択肢	全体	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地 以外)	東部地域
通勤・通学など交通が不便だから	36 25.0%	4 22.2%	11 42.3%	3 14.3%	11 33.3%	7 17.1%
仕事の都合で	35 24.3%	6 33.3%	5 19.2%	4 19.0%	5 15.2%	14 34.1%
家賃や地価が高いから	27 18.8%	4 22.2%	7 26.9%	2 9.5%	6 18.2%	7 17.1%
日常の買い物が不便だから	25 17.4%	4 22.2%	6 23.1%	2 9.5%	5 15.2%	6 14.6%
家族構成が変わったから	24 16.7%	3 16.7%	5 19.2%	4 19.0%	4 12.1%	7 17.1%
道路などの都市基盤が整っていないから	23 16.0%	3 16.7%	4 15.4%	3 14.3%	4 12.1%	8 19.5%
自然環境がよくないから	17 11.8%	0 0.0%	2 7.7%	2 9.5%	6 18.2%	6 14.6%
知人や親せきがない、少ないから	15 10.4%	2 11.1%	2 7.7%	1 4.8%	2 6.1%	8 19.5%
子育て環境がよくないから	14 9.7%	2 11.1%	1 3.8%	1 4.8%	4 12.1%	6 14.6%
高齢者福祉がよくないから	12 8.3%	2 11.1%	2 7.7%	0 0.0%	3 9.1%	4 9.8%
治安の面で不安があるから	12 8.3%	2 11.1%	2 7.7%	3 14.3%	3 9.1%	2 4.9%
防災の面で不安があるから	9 6.3%	2 11.1%	2 7.7%	1 4.8%	2 6.1%	2 4.9%
公共施設が不足しているから	8 5.6%	1 5.6%	1 3.8%	2 9.5%	1 3.0%	3 7.3%
教育環境がよくないから	5 3.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	3 9.1%	1 2.4%
その他	35 24.3%	4 22.2%	4 15.4%	6 28.6%	12 36.4%	8 19.5%
特に理由はない	6 4.2%	1 5.6%	0 0.0%	3 14.3%	0 0.0%	2 4.9%
(無効回答)	4 2.8%	2 11.1%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)
 回答割合が最も高い: 0.0% 回答割合が2番目に高い: 0.0%

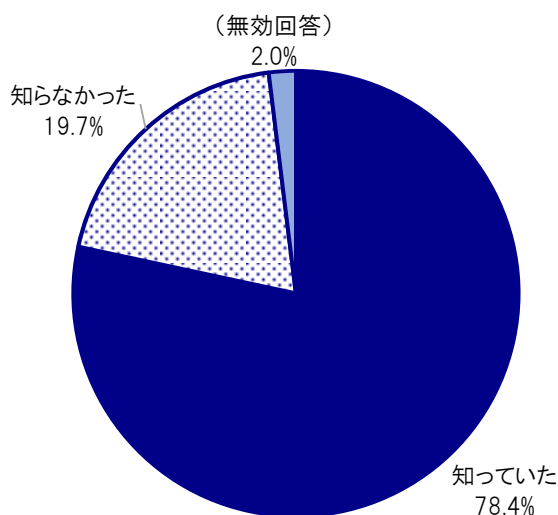
(3) 東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019™日本大会

【東京2020大会、ラグビーワールドカップ2019™日本大会に対する認知度と意識について】

問44-1) あなたは、調布市で東京2020大会の競技種目の一部やラグビーワールドカップ2019™日本大会の開会式や開幕戦等が開催されることを知っていましたか。

＜全体 (n=1,382)＞

○「知っていた」は78.4%、「知らなかった」は19.7%であり、認知度は約8割程度となっています。平成29年度(68.0%)と比べて10.4ポイント増加しており、ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会に向けた機運の高まりが見られます。



＜年齢層別＞

○20～59歳では「ラグビーワールドカップ2019」が最も多く、それ以外の年齢層では「オリンピック・サッカー」が最も多くなっています。

○2番目をみると、40～49歳は「オリンピック・7人制ラグビー」となっていますが、20～39歳と50～59歳は「オリンピック・サッカー」、それ以外の年齢層では「ラグビーワールドカップ2019」となっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
オリンピック・近代五種	360 33.2%	9 39.1%	14 23.0%	47 32.2%	90 43.7%	63 36.2%	25 29.8%	30 35.7%	49 31.2%	32 22.5%
オリンピック・バドミントン	552 51.0%	10 43.5%	29 47.5%	63 43.2%	110 53.4%	99 56.9%	49 58.3%	44 52.4%	84 53.5%	64 45.1%
オリンピック・7人制ラグビー	574 53.0%	12 52.2%	36 59.0%	72 49.3%	132 64.1%	91 52.3%	37 44.0%	46 54.8%	75 47.8%	71 50.0%
オリンピック・サッカー	764 70.5%	19 82.6%	39 63.9%	76 52.1%	131 63.6%	122 70.1%	67 79.8%	69 82.1%	134 85.4%	102 71.8%
パラリンピック・車いすバスケットボール	397 36.7%	9 39.1%	18 29.5%	50 34.2%	83 40.3%	63 36.2%	20 23.8%	28 33.3%	63 40.1%	62 43.7%
ラグビーワールドカップ2019 (開会式・開幕戦等)	814 75.2%	16 69.6%	49 80.3%	110 75.3%	166 80.6%	131 75.3%	64 76.2%	66 78.6%	114 72.6%	94 66.2%

(上段:実数(人), 下段(構成比))

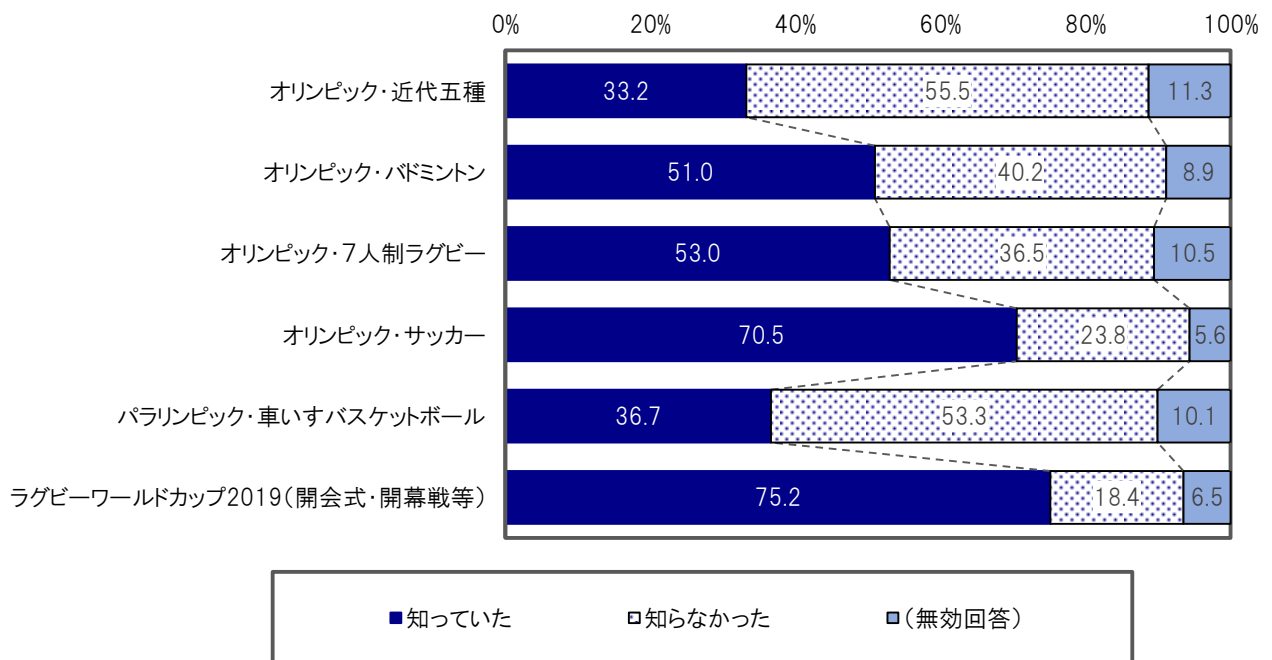
回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

問44-2) 問44-1で「1知っていた」と回答した方にうかがいます。あなたが知っている情報のうち、次の中からそれぞれ1つずつ選んで○をつけてください。

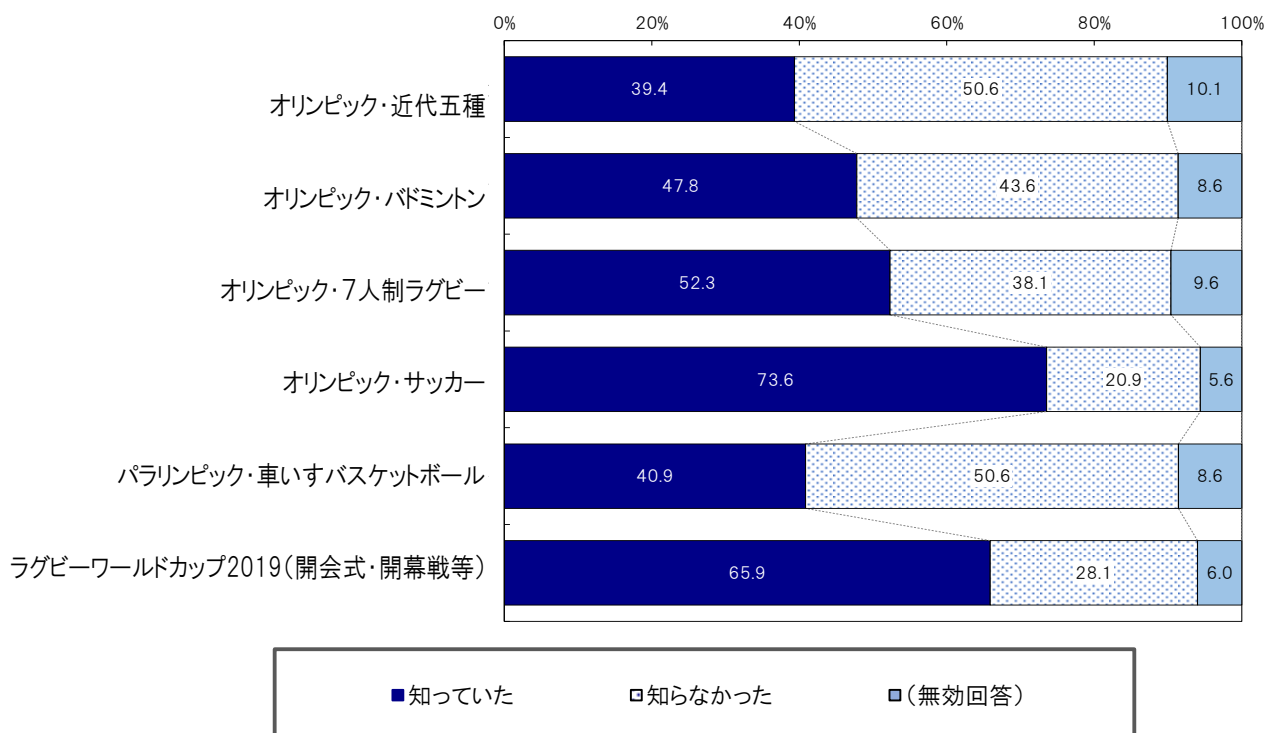
<全体 (n=1,083)>

○知っていた競技は、「ラグビーワールドカップ2019(開会式・開幕戦等)」が75.2%で最も多く、次いで「オリンピック・サッカー」の70.5%、「オリンピック・7人制ラグビー」の53.0%の順となっています。
○また、知らなかった競技として「オリンピック・近代五種」が55.5%で最も多く、次いで「パラリンピック・車いすバスケットボール」の53.3%、「オリンピック・バドミントン」の40.2%の順となっています。



参考 平成29年度調布市民意識調査 調布市で行われる競技種目・大会についての認知度

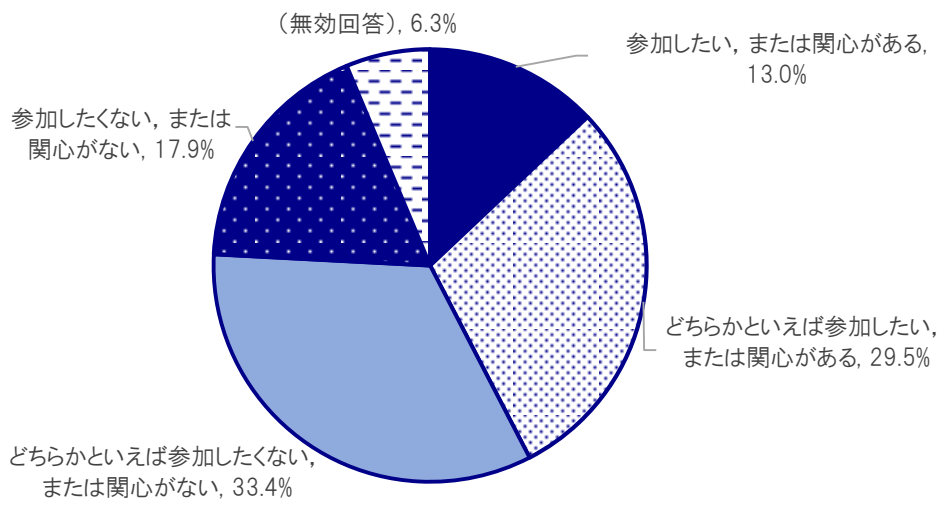
<全体 (n=935)>



問45) あなたは、調布市における東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組（スポーツ・健康イベントやボランティアなど）に参加したい、または関心がありますか。次の中から1つ選んで○をつけてください。
 (東京都等は、東京2020大会に向けた都市ボランティア等の募集を平成30年9月26日から開始)

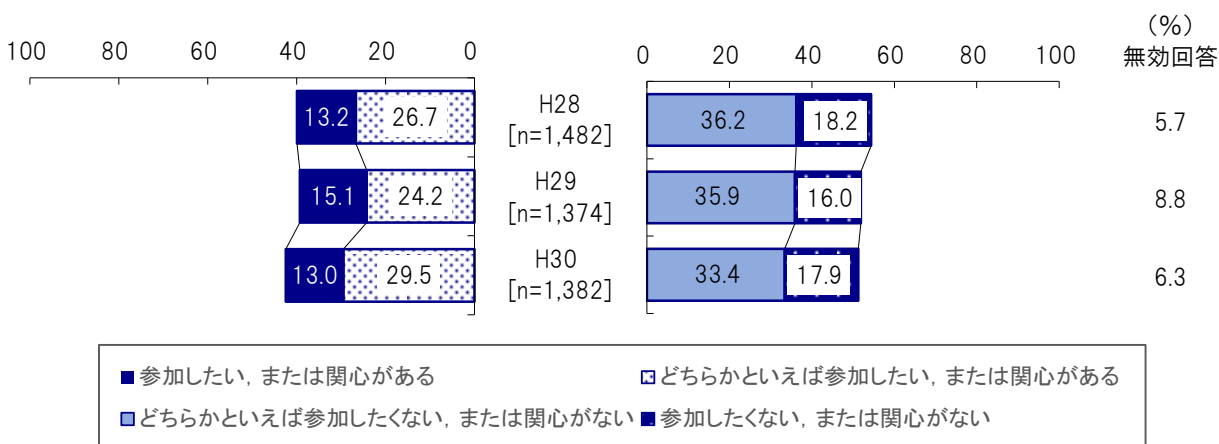
<全体 (n=1,382) >

- 「参加したい、または関心がある」が13.0%, 「どちらかといえば参加したい、または関心がある」が29.5%, 合計で42.5%となっています。
- 「どちらかといえば参加したくない、または関心がない」が33.4%, 「参加したくない、または関心がない」が17.9%, 合計で51.3%と半数以上となっています。



<経年比較>

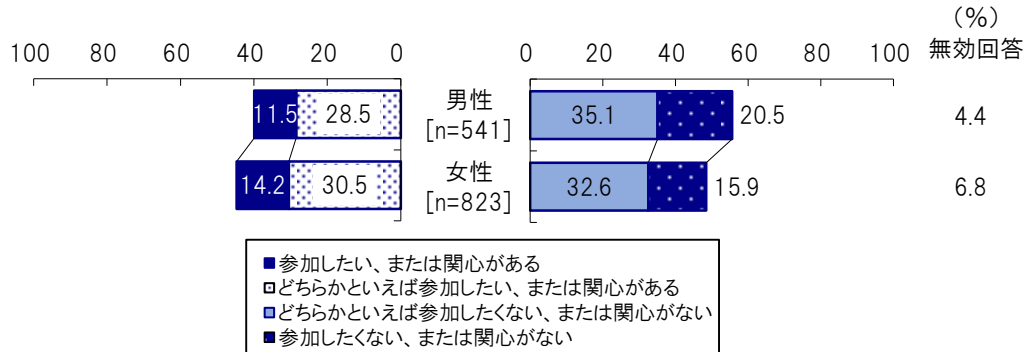
○「参加したい、または関心がある」と「どちらかといえば参加したい、または関心がある」が合計で42.5%となっており、平成29年度の39.3%と比べて、3.2ポイント増えています。



<性別>

○「参加したい, または関心がある」と「どちらかといえば参加したい, または関心がある」の合計は, 男女とも4割を上回っています。

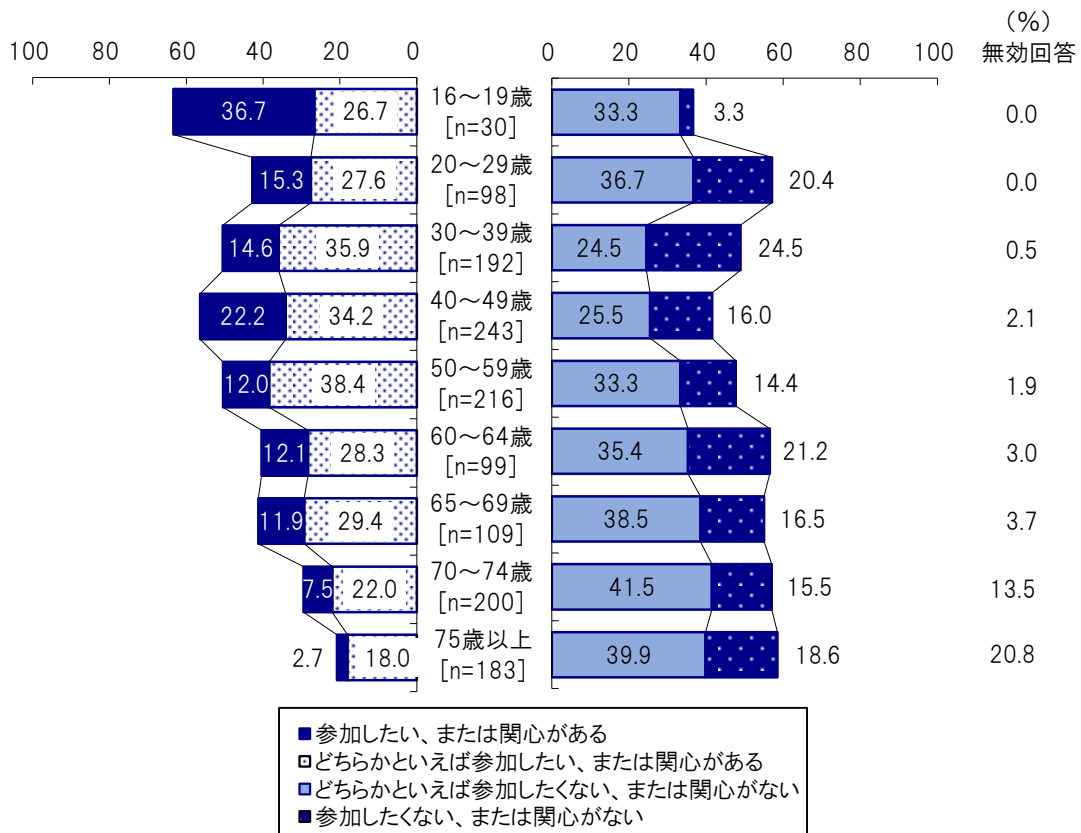
○一方, 「どちらかといえば参加したくない, または関心がない」と「参加したくない, または関心がない」の合計は, 男性で半数を上回っています。



<年齢層別>

○「参加したい, または関心がある」と「どちらかといえば参加したい, または関心がある」の合計は, 16～19歳では6割を超えています。また, 30～59歳で半数を超えています。

○一方, 「どちらかといえば参加したくない, または関心がない」と「参加したくない, または関心がない」の合計は 20～29歳と 60歳以上で半数を超えています。



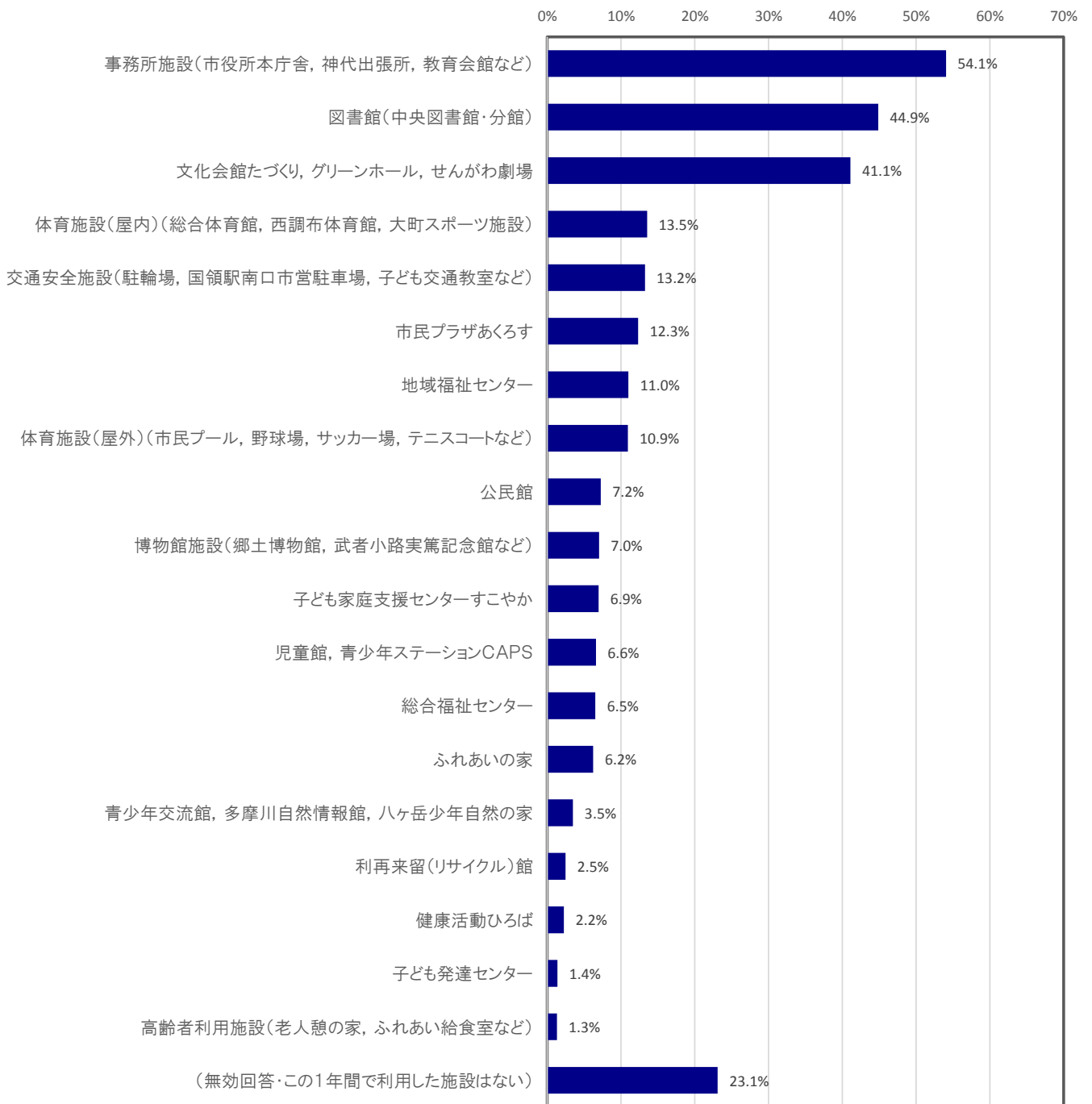
(4) 「公共施設マネジメント」

【公共施設マネジメントについて】

問 46-1A) あなたがこの1年間で利用したことのある施設について、以下の一覧表の「A欄」に「○印」をご記入ください。(※複数回答可)

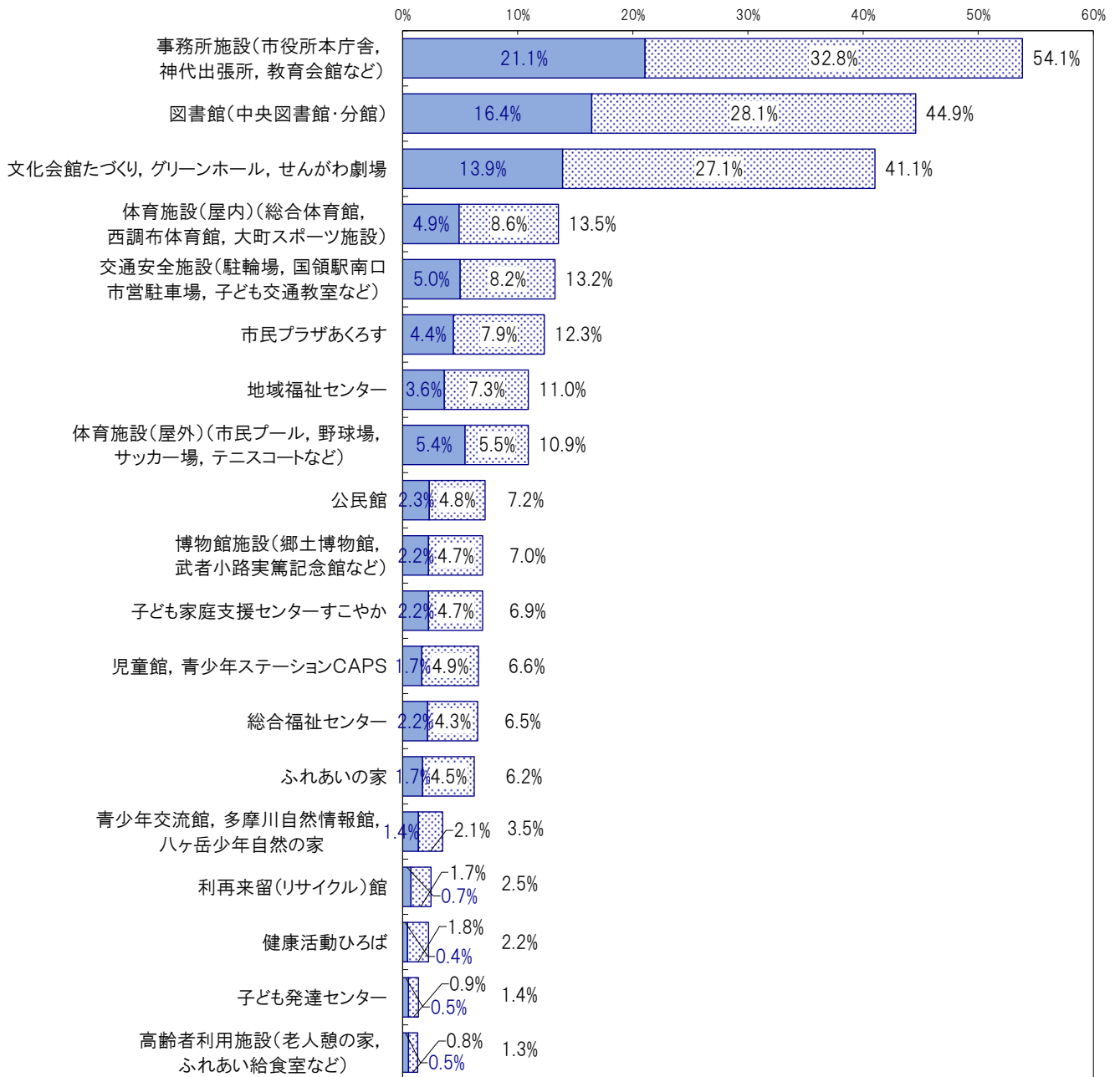
<全体 (n=1,382) >

○「事務所施設」が54.1%で最も多く、次いで「図書館」の44.9%、「文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場」の41.1%の順となっています。



<性別>

○どの施設でも、利用した人の割合について女性が男性を上回っています。特に「事務所施設」と「図書館」、
「文化会館たづくり，グリーンホール，せんがわ劇場」では10ポイント以上，女性が男性を上回っています。



■ 男性 □ 女性

<年齢層別>

○16～19歳では「図書館」の利用が最も多く、20～29歳では「事務所施設」と「図書館」の利用が最も多くなっています。30～69歳では「事務所施設」の利用が最も多く、70歳以上では「文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場」の利用が最も多くなっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)	747 54.1%	6 20.0%	34 34.7%	115 59.9%	161 66.3%	139 64.4%	54 54.5%	68 62.4%	99 49.5%	70 38.3%
図書館(中央図書館・分館)	620 44.9%	19 63.3%	34 34.7%	91 47.4%	145 59.7%	99 45.8%	35 35.4%	56 51.4%	86 43.0%	52 28.4%
文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場	568 41.1%	12 40.0%	21 21.4%	76 39.6%	102 42.0%	86 39.8%	32 32.3%	56 51.4%	102 51.0%	80 43.7%
体育施設(屋内)(総合体育館, 西調布体育館, 大町スポーツ施設)	187 13.5%	2 6.7%	8 8.2%	30 15.6%	48 19.8%	18 8.3%	12 12.1%	16 14.7%	28 14.0%	25 13.7%
交通安全施設(駐輪場, 国領駅南口市営駐車場, 子ども交通教室など)	183 13.2%	9 30.0%	5 5.1%	33 17.2%	56 23.0%	33 15.3%	8 8.1%	8 7.3%	18 9.0%	13 7.1%
市民プラザあくろす	170 12.3%	2 6.7%	8 8.2%	17 8.9%	28 11.5%	33 15.3%	15 15.2%	21 19.3%	26 13.0%	20 10.9%
地域福祉センター	152 11.0%	1 3.3%	1 1.0%	11 5.7%	33 13.6%	13 6.0%	7 7.1%	10 9.2%	38 19.0%	37 20.2%
体育施設(屋外)(市民プール, 野球場, サッカー場, テニスコートなど)	151 10.9%	9 30.0%	6 6.1%	25 13.0%	53 21.8%	19 8.8%	10 10.1%	7 6.4%	12 6.0%	10 5.5%
公民館	100 7.2%	1 3.3%	3 3.1%	12 6.3%	15 6.2%	11 5.1%	7 7.1%	10 9.2%	25 12.5%	16 8.7%
博物館施設(郷土博物館, 武者小路実篤記念館など)	97 7.0%	2 6.7%	1 1.0%	5 2.6%	18 7.4%	13 6.0%	9 9.1%	12 11.0%	19 9.5%	18 9.8%
子ども家庭支援センターすこやか	96 6.9%	0 0.0%	7 7.1%	55 28.6%	24 9.9%	2 0.9%	1 1.0%	2 1.8%	2 1.0%	3 1.6%
児童館, 青少年ステーションCAPS	91 6.6%	9 30.0%	1 1.0%	23 12.0%	31 12.8%	5 2.3%	3 3.0%	6 5.5%	5 2.5%	8 4.4%
総合福祉センター	90 6.5%	0 0.0%	2 2.0%	5 2.6%	7 2.9%	9 4.2%	4 4.0%	12 11.0%	27 13.5%	24 13.1%
ふれあいの家	86 6.2%	0 0.0%	2 2.0%	7 3.6%	26 10.7%	9 4.2%	6 6.1%	10 9.2%	14 7.0%	12 6.6%
青少年交流館, 多摩川自然情報館, ハケ岳少年自然の家	48 3.5%	1 3.3%	2 2.0%	8 4.2%	15 6.2%	4 1.9%	0 0.0%	6 5.5%	7 3.5%	5 2.7%
利再来留(リサイクル)館	34 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	6 2.5%	4 1.9%	1 1.0%	7 6.4%	9 4.5%	6 3.3%
健康活動ひろば	31 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.1%	2 0.8%	6 2.8%	2 2.0%	5 4.6%	5 2.5%	7 3.8%
子ども発達センター	19 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	7 3.6%	9 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.9%	1 0.5%	1 0.5%
高齢者利用施設(老人憩の家, ふれあい給食室など)	18 1.3%	0 0.0%	1 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	1 0.9%	4 2.0%	10 5.5%
(無効回答・この1年間で利用した施設はない)	319 23.1%	5 16.7%	33 33.7%	32 16.7%	42 17.3%	37 17.1%	25 25.3%	21 19.3%	50 25.0%	66 36.1%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

問 46-1B)「B欄」にあなたが最も重要だと思う施設から順に「①, ②, ③ (一つずつ選択)」をご記入ください。

- 最も重要だと思う施設の1番目にあげられているものは、「事務所施設」が29.5%で最も多く、次いで「保育園」の10.4%、「図書館」の5.6%の順となっています。
- 2番目に挙げられているものは、「図書館」が11.9%で最も多く、次いで「文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場」の6.8%、「義務教育施設」の5.8%の順となっています。
- 3番目に挙げられているものは、「図書館」が10.1%で最も多く、次いで「文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場」の7.2%、「体育施設(屋内)」の4.1%の順となっています。
- 下記のいずれの集計においても、「事務所施設」, 「図書館」, 「文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場」, 「義務教育施設」が入っています。

最も重要だと思う施設1番目 上位5施設	
選択肢	構成比
事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)	29.5%
保育園	10.4%
図書館(中央図書館・分館)	5.6%
義務教育施設(小学校・中学校など)	4.1%
文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場	3.5%

最も重要だと思う施設2番目 上位5施設	
選択肢	構成比
図書館(中央図書館・分館)	11.9%
文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場	6.8%
義務教育施設(小学校・中学校など)	5.8%
保育園	5.5%
事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)	4.3%

最も重要だと思う施設3番目 上位5施設	
選択肢	構成比
図書館(中央図書館・分館)	10.1%
文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場	7.2%
体育施設(屋内)(総合体育館, 西調布体育館, 大町スポーツ施設)	4.1%
事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)	3.9%
義務教育施設(小学校・中学校など)	3.7%

<年齢層別>

○16～19歳以外の年齢層では、「事務所施設」が、16～19歳では「保育園」が最も重要とされている割合が1番目に多くなっています。

○20～49歳と60～64歳では「保育園」、50～59歳と65～74歳では「図書館」、75歳以上では「文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場」、16～19歳では「事務所施設」と「文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場」が、それぞれ最も重要とされている割合が2番目に多くなっています。

【図表 最も重要だと思う施設（年齢層別，上位5位）】

	全体 [n=1,382]	16～19歳 [n=30]	20～29歳 [n=98]	30～39歳 [n=192]	40～49歳 [n=243]
第1位	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 29.5%	保育園 23.3%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 26.5%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 26.6%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 32.9%
第2位	保育園 10.4%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など)(同率) 13.3%	保育園 20.4%	保育園 26.0%	保育園 13.6%
第3位	図書館(中央図書館・分館) 5.6%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場(同率) 13.3%	図書館(中央図書館・分館) 9.2%	義務教育施設(小学校・中学校など) 8.9%	図書館(中央図書館・分館) 6.6%
第4位	義務教育施設(小学校・中学校など) 4.1%	児童館, 青少年ステーションCAPS(同率) 6.7%	防災施設(消防団機械器具置場, 防災倉庫など) 5.1%	防災施設(消防団機械器具置場, 防災倉庫など) 6.3%	義務教育施設(小学校・中学校など) 5.8%
第5位	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 3.5%	図書館(中央図書館・分館)(同率) 6.7%	子ども家庭支援センターすこやか 4.1%	図書館(中央図書館・分館) 3.6%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 3.7%

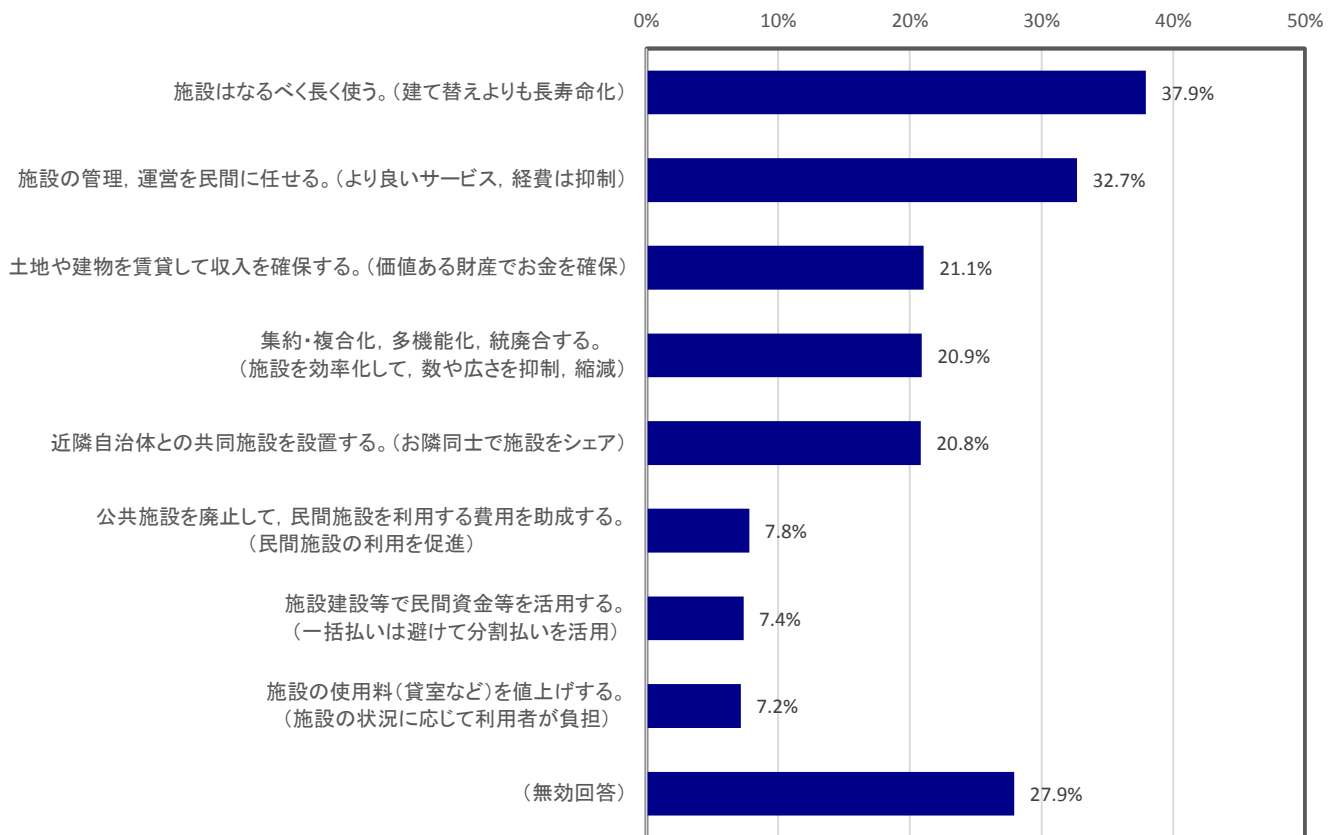
【図表 最も重要だと思う施設（年齢層別，上位5位）】

	50～59歳 [n=216]	60～64歳 [n=99]	65～69歳 [n=109]	70～74歳 [n=200]	75歳以上 [n=183]
第1位	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 41.2%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 30.3%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 24.8%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 28.5%	事務所施設(市役所本庁舎, 神代出張所, 教育会館など) 24.0%
第2位	図書館(中央図書館・分館) 7.4%	保育園 10.1%	図書館(中央図書館・分館) 6.4%	図書館(中央図書館・分館) 5.5%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 3.8%
第3位	保育園 5.1%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 4.0%	高齢者サービス施設(ちょうふの里, 国領高齢者在宅サービスセンター, シルバーピアなど) 5.5%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 4.5%	高齢者サービス施設(ちょうふの里, 国領高齢者在宅サービスセンター, シルバーピアなど) 3.3%
第4位	高齢者利用施設(老人憩の家, ふれあい給食室など) 4.6%	義務教育施設(小学校・中学校など)(同率) 3.0%	文化会館たづくり, グリーンホール, せんがわ劇場 4.6%	総合福祉センター 3.0%	保育園 2.7%
第5位	防災施設(消防団機械器具置場, 防災倉庫など) 3.7%	図書館(中央図書館・分館)(同率) 3.0%	保育園 3.7%	義務教育施設(小学校・中学校など) 2.5%	図書館(中央図書館・分館) 2.2%

問 46-2) 調布市公共施設等総合管理計画では、公共施設マネジメントの基本方針として、「最適化に向けた適正な配置と総量の抑制」、「適切な維持管理・運営の推進」、「民間活力等の活用」を掲げています。それらを踏まえて、以下の方策のうち、あなたが取り組んだ方が良いと考えるものに「○印」をご記入ください。(※複数回答可)

<全体 (n=1,382) >

○「施設はなるべく長く使う。」が37.9%で最も多く、次いで「施設の管理、運営を民間に任せる。」の32.7%、「土地や建物を賃貸して収入を確保する。」の21.1%の順となっています。



<年齢層別>

○16～29歳と50～59歳、65歳以上では、「施設はなるべく長く使う。」が最も多く、2番目が「施設の管理、運営を民間に任せる。」となっています。

○30～49歳と60～64歳では、「施設の管理、運営を民間に任せる。」が最も多く、2番目が「施設はなるべく長く使う。」となっています。

○全ての年齢層において、上位2つに選ばれている方策は同様となっています。

選択肢	全体	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
施設はなるべく長く使う。(建て替えよりも長寿命化)	524 37.9%	15 50.0%	34 34.7%	63 32.8%	93 38.3%	102 47.2%	28 28.3%	47 43.1%	80 40.0%	60 32.8%
施設の管理、運営を民間に任せる。(より良いサービス、経費は抑制)	452 32.7%	10 33.3%	32 32.7%	69 35.9%	101 41.6%	69 31.9%	33 33.3%	33 30.3%	62 31.0%	43 23.5%
土地や建物を賃貸して収入を確保する。(価値ある財産でお金を確保)	291 21.1%	4 13.3%	18 18.4%	48 25.0%	68 28.0%	52 24.1%	24 24.2%	24 22.0%	31 15.5%	22 12.0%
集約・複合化、多機能化、統廃合する。(施設を効率化して、数や広さを抑制、縮減)	289 20.9%	4 13.3%	23 23.5%	58 30.2%	56 23.0%	57 26.4%	18 18.2%	18 16.5%	28 14.0%	27 14.8%
近隣自治体との共同施設を設置する。(お隣同士で施設をシェア)	288 20.8%	3 10.0%	16 16.3%	50 26.0%	65 26.7%	50 23.1%	21 21.2%	23 21.1%	33 16.5%	26 14.2%
公共施設を廃止して、民間施設を利用する費用を助成する。(民間施設の利用を促進)	108 7.8%	3 10.0%	11 11.2%	18 9.4%	20 8.2%	19 8.8%	6 6.1%	8 7.3%	12 6.0%	11 6.0%
施設建設等で民間資金等を活用する。(一括払いは避けて分割払いを活用)	102 7.4%	1 3.3%	5 5.1%	16 8.3%	20 8.2%	20 9.3%	6 6.1%	10 9.2%	14 7.0%	10 5.5%
施設の使用料(貸室など)を値上げする。(施設の状況に応じて利用者が負担)	99 7.2%	0 0.0%	9 9.2%	19 9.9%	18 7.4%	14 6.5%	6 6.1%	8 7.3%	10 5.0%	15 8.2%
(無効回答)	386 27.9%	5 16.7%	21 21.4%	32 16.7%	46 18.9%	45 20.8%	34 34.3%	32 29.4%	75 37.5%	86 47.0%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 0.0%

回答割合が2番目に高い: 0.0%

